

オリジナル ダークエルフ・異種/痴女ぶっかけ孕みエロCG集！！！！

18歳未満閲覧禁止
18+
ADULT ONLY

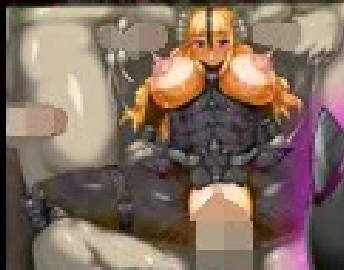
多汁ぶっかけ
断面図
モンスター
触手
潮吹き
鼻フック
制服
パイズリ
露出 etc

セリフ&テキスト付き

〔巨乳×ダークエルフ
×異種/痴女×汁〕

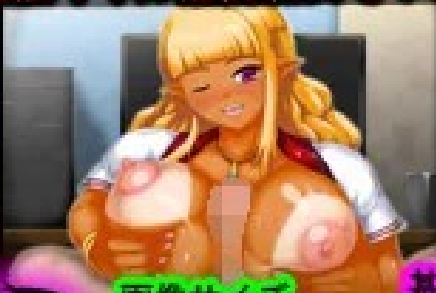
巨乳ダークエルフ騎士が怪物達に敗北して・・・

黒騎士
ver.



制服黒ギャル淫乱痴女でイチャラブ性活！？

制服
ver.



画像サイズ
1052×744 pixel

基本8枚+立ち絵/差分多数

総CG枚数 **173** 枚

DARK ELF HUNTER

For Adult Only

●PRESENTED BY H. P. D. ●



■FOR ADULT ONLY■

18歳未満観覧禁止です。無断転載・無断複製・アップロードなど禁止。

■HOME PAGE■

<http://hpdkeiryu.x.fc2.com/>















強靱で堅いアーマーを持つモンスターに襲われた巨乳ダークエルフはあっけなく武器と鎧を破壊された。露になった乳房を後ろからモンスターに揉まれ続ける。乳首とクリオリスには触手が絡みつき、刺激を与え続ける。陰部には、ゴツゴツとした突起のある男根をねじ込まれ、激しく出し入れされた。陰部からは絶え間なく愛液が漏れ出す。理性のないモンスター達は目の前の獲物を犯し続け、最後には大量の精液が彼女を覆い尽くしたのだった・・・。



ちん!

ちん!

やだや

やだ

やだ

やだや

んはあつ!
入ってくるう!

ぽん

やだや

ああん!

や、やめろう!
化け物おつ!

はあん!

ぽん

やだや



あぁっ！ダメだぁ！
イクツイクウ...!!

奥まで届いてくぅ...!





おん!

おん!

おん!

おん!

おん!

おん!

おん!

おん!

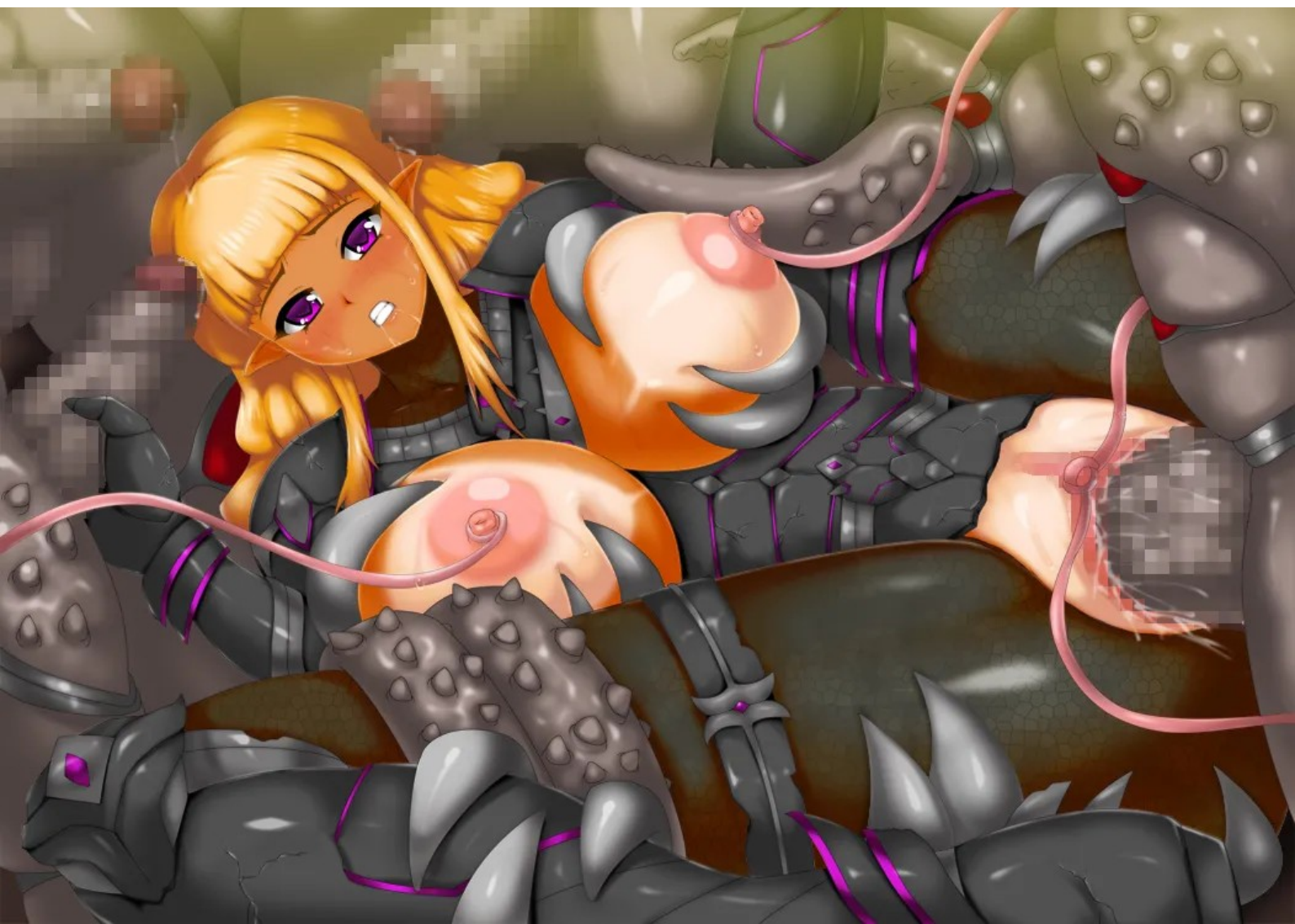
おん!

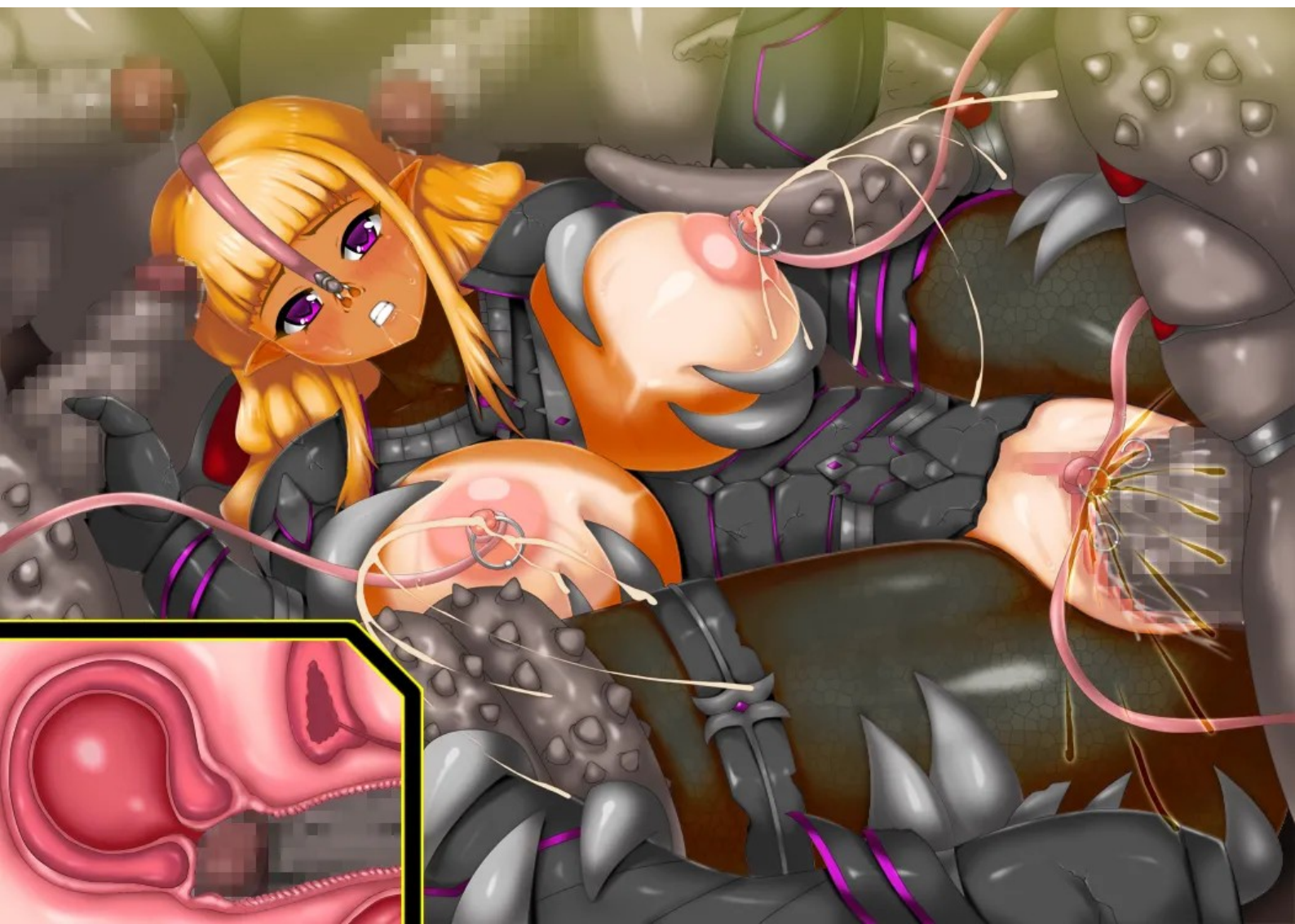
おん!

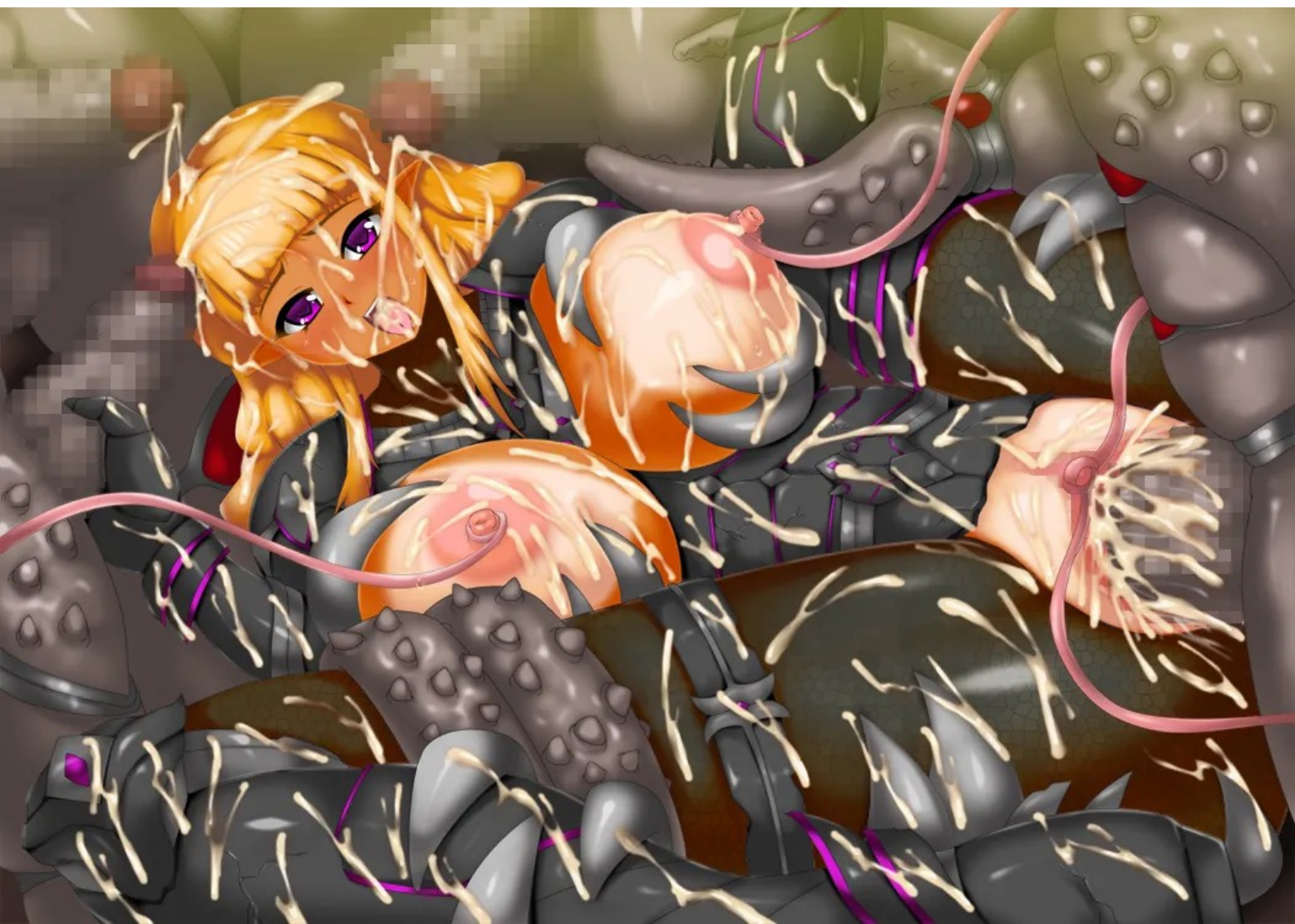
んはあつ!
出てくるう!

中に出すなあつ!

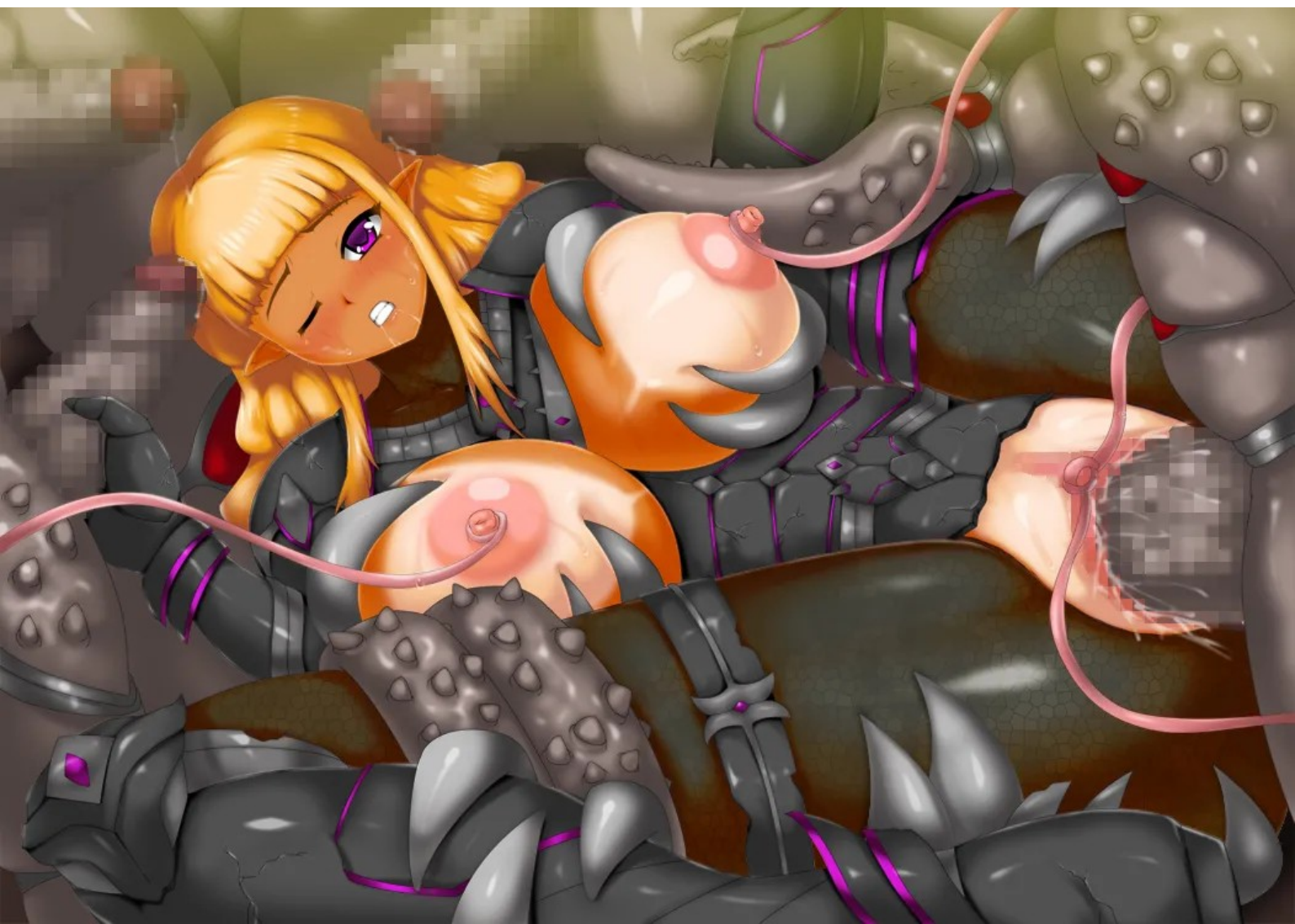


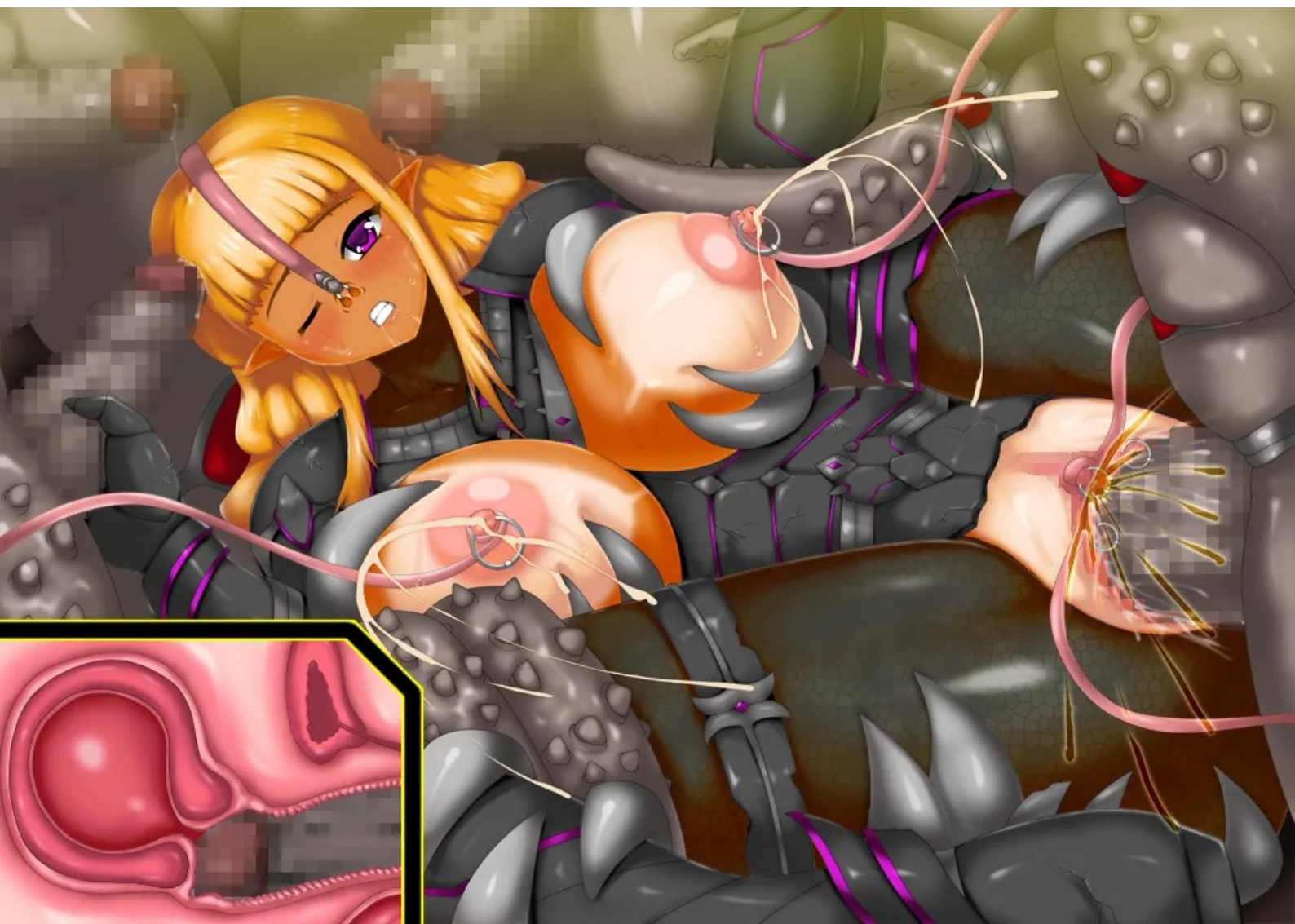


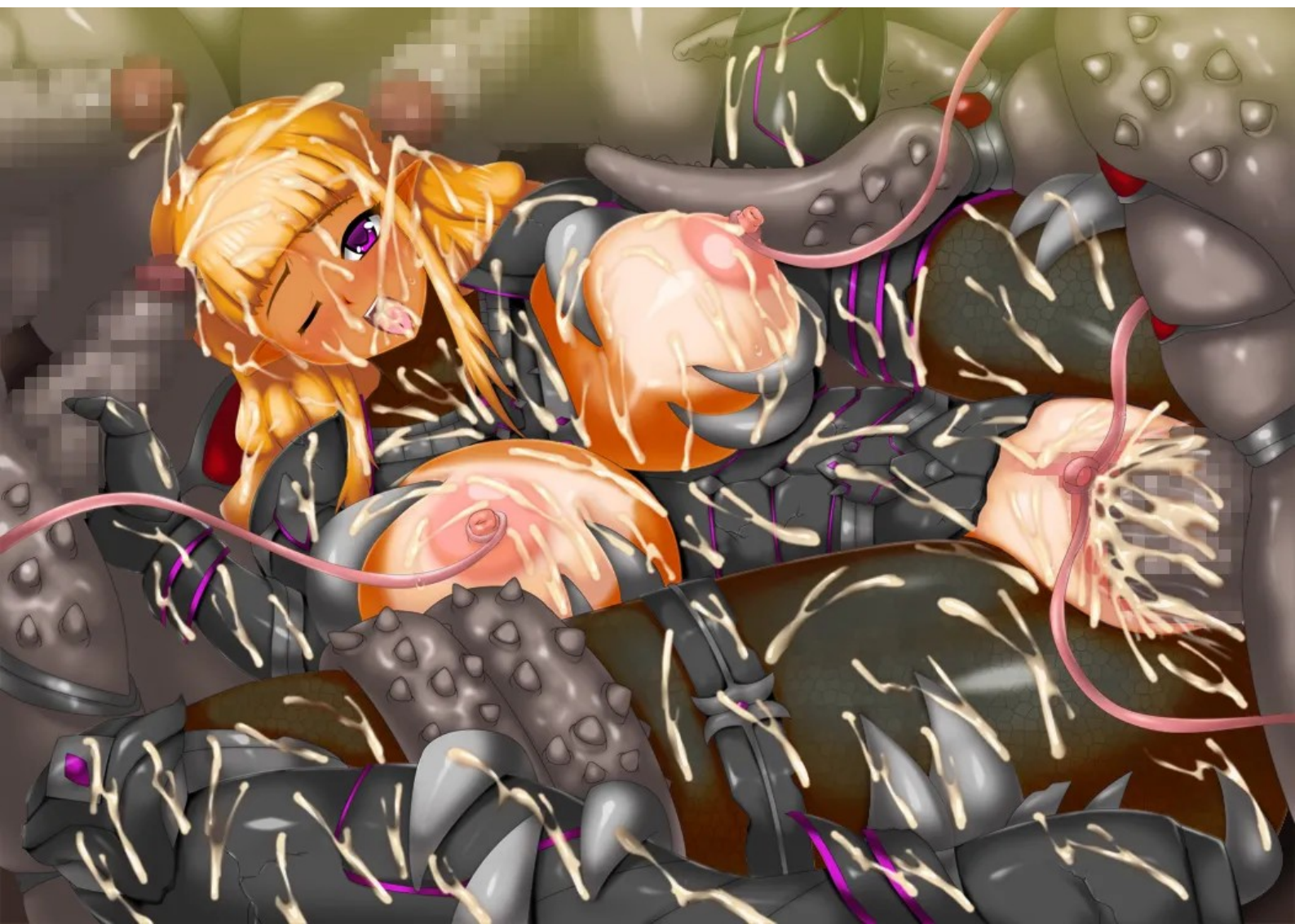








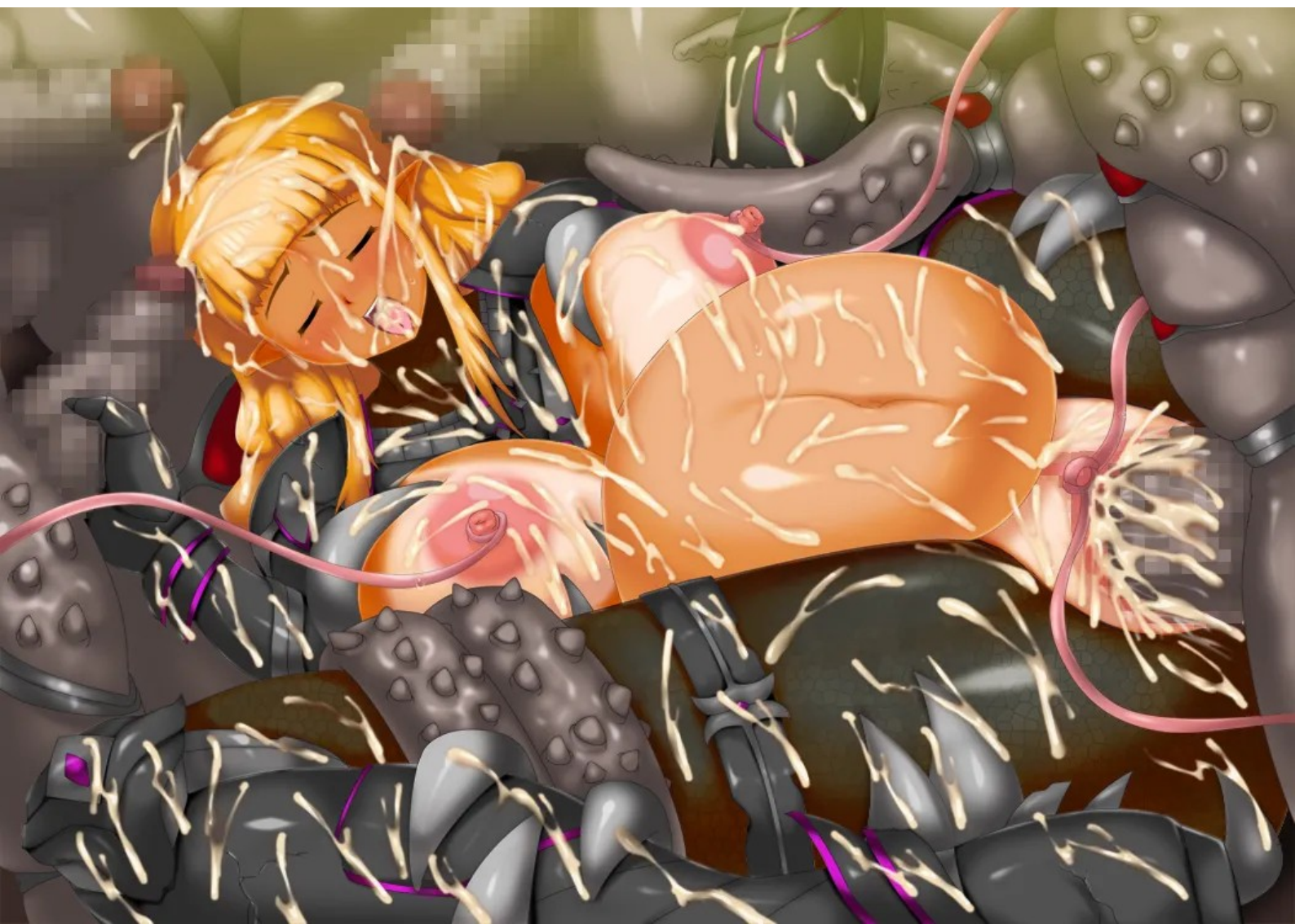


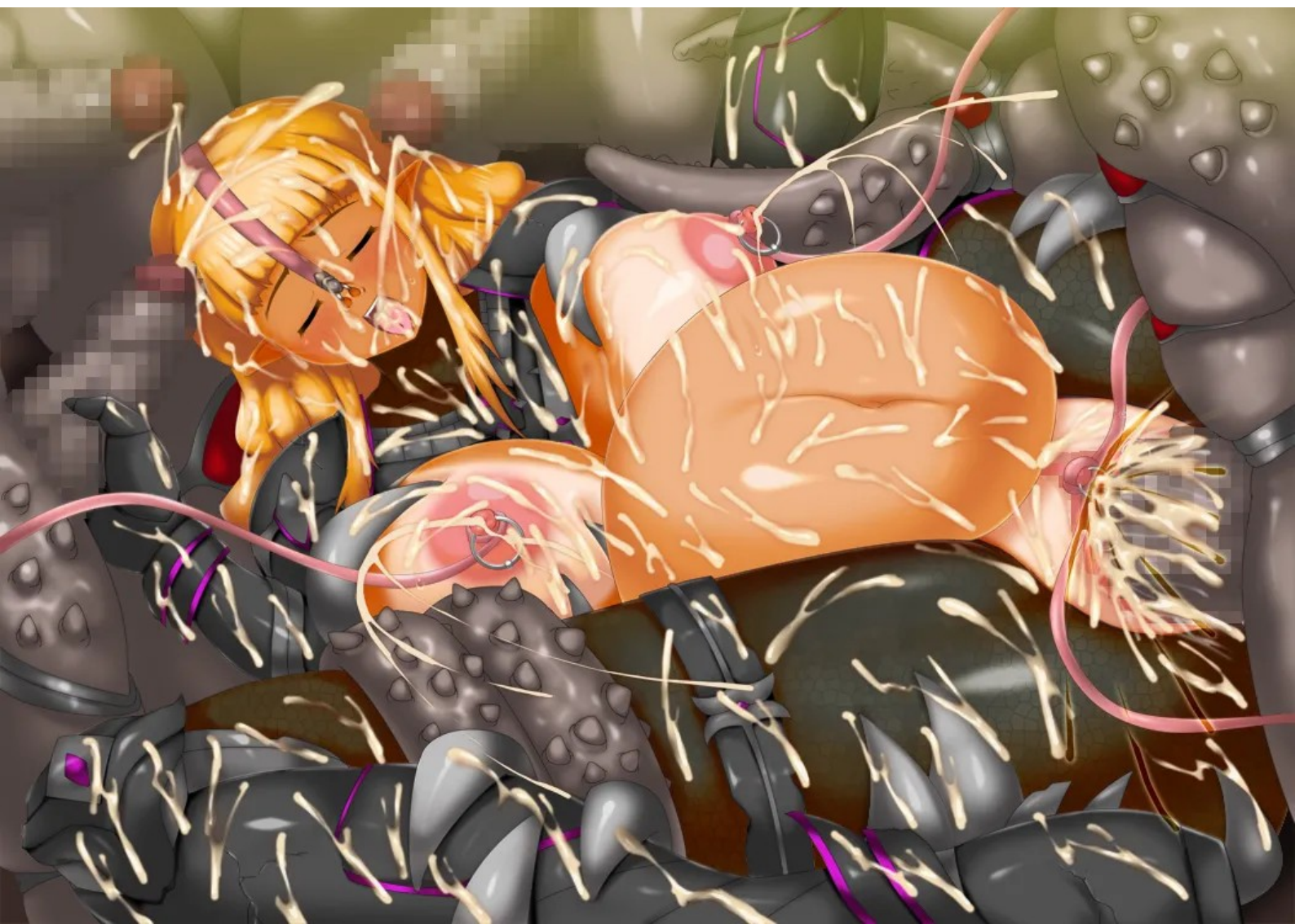






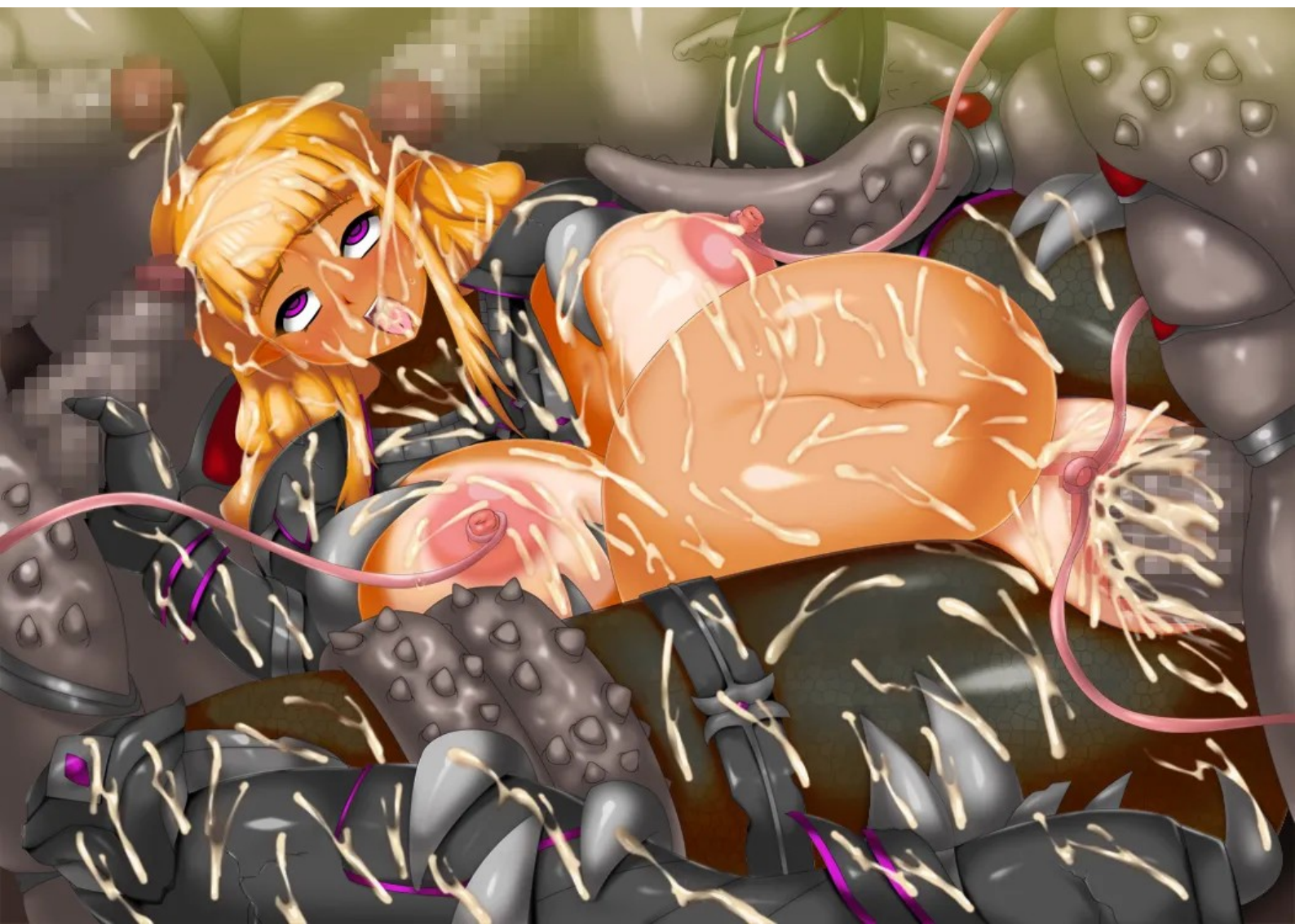
















モンスターの潜む森に潜入したダークエルフは、機械と同化した植物型の触手に捕らえられた。あらゆる方向から現れた触手が身体の自由を奪う。グロテスクな形状の性器が陰部とア〇ルにズブリと挿入される。乳房には吸い出し機をついた触手がかぶさり、強力な吸引と締め付けによって母乳が勢いよく搾り出される。体験した事のない感触が彼女を何度も絶頂に達させた。その植物モンスターは紛れも無く汚れた欲望が生み出した兵器だったのだ・・・。

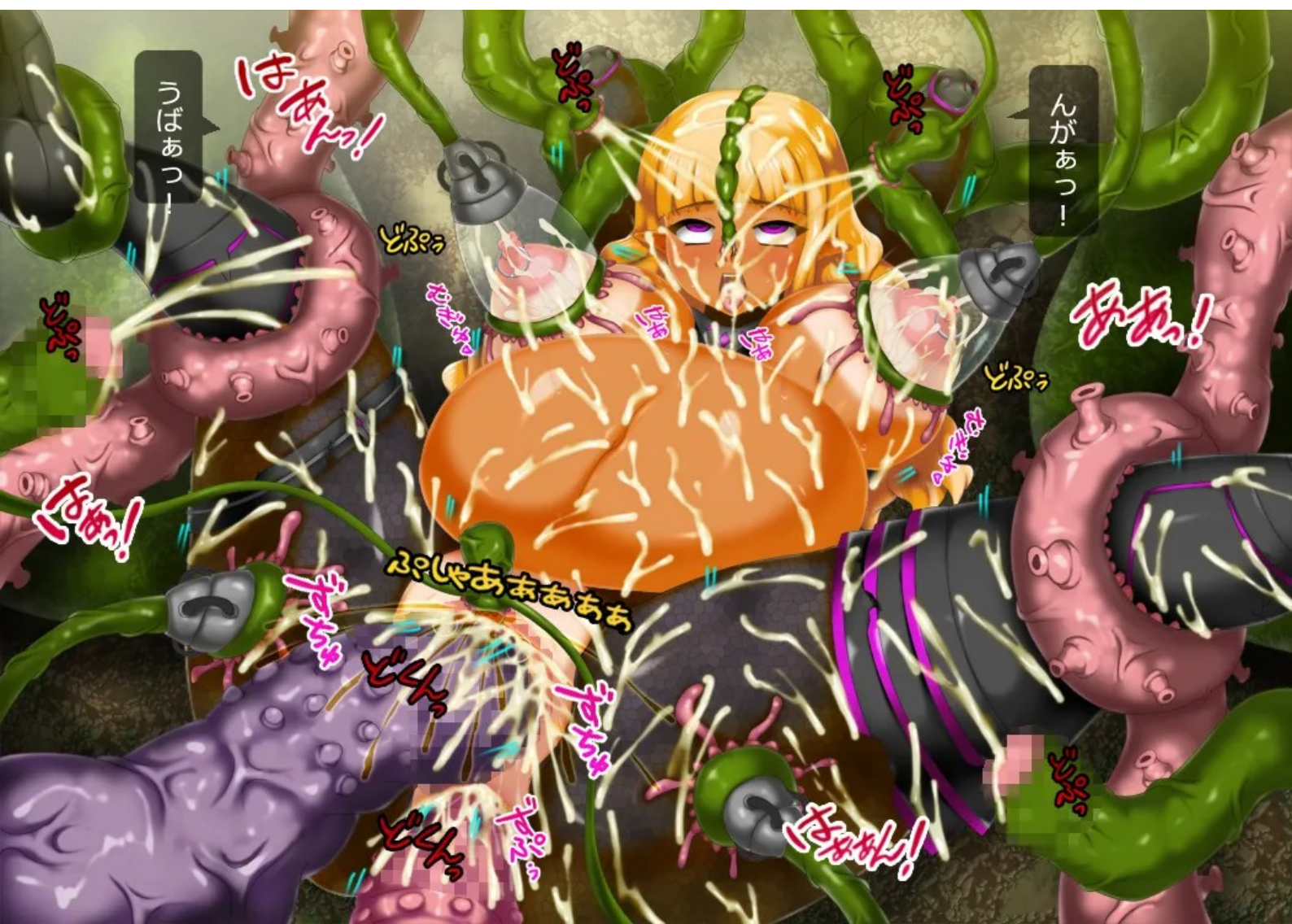


はぁっあぁっ!
壊れてしまうう!

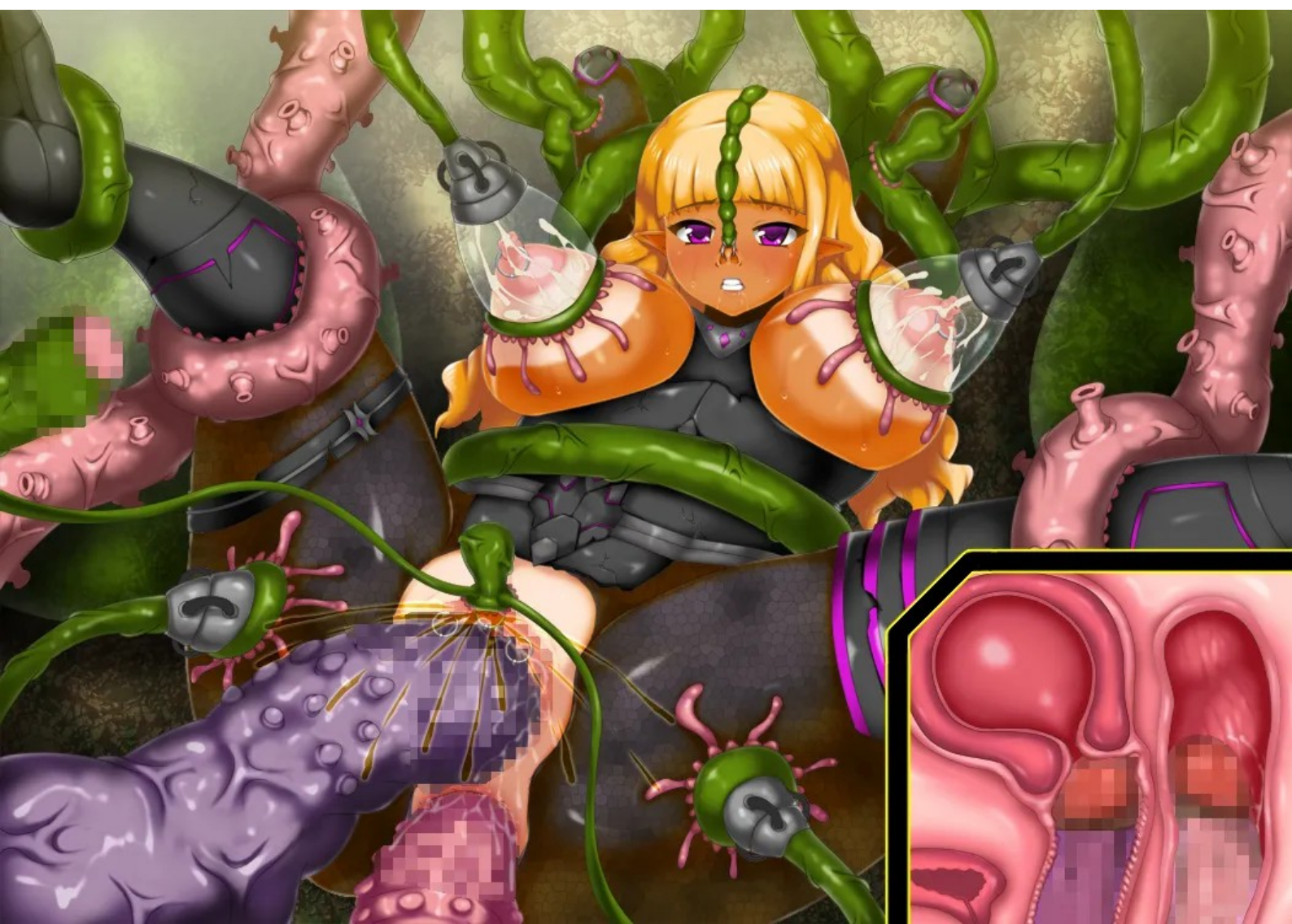
んはぁっ!
大きすぎるう!

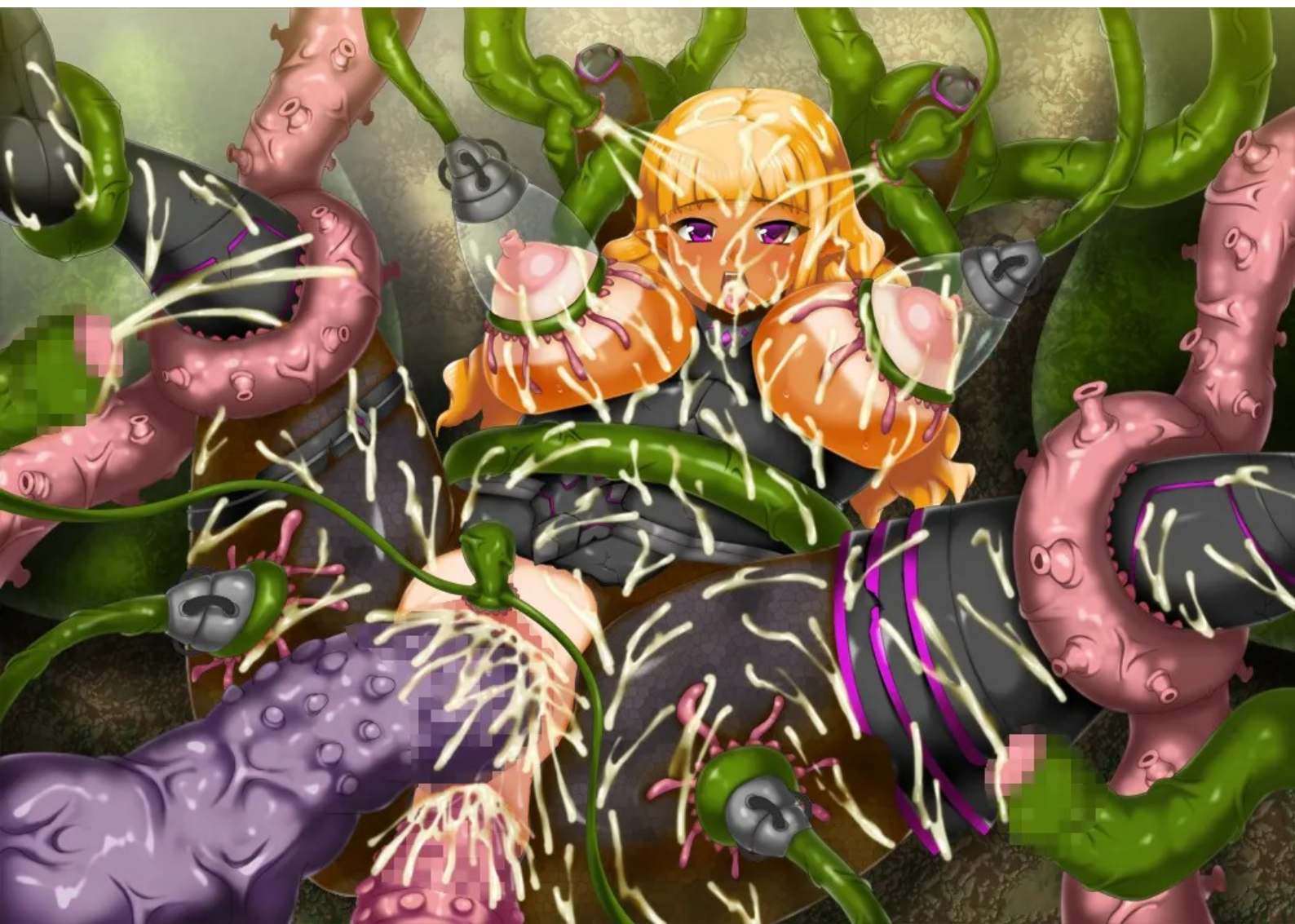


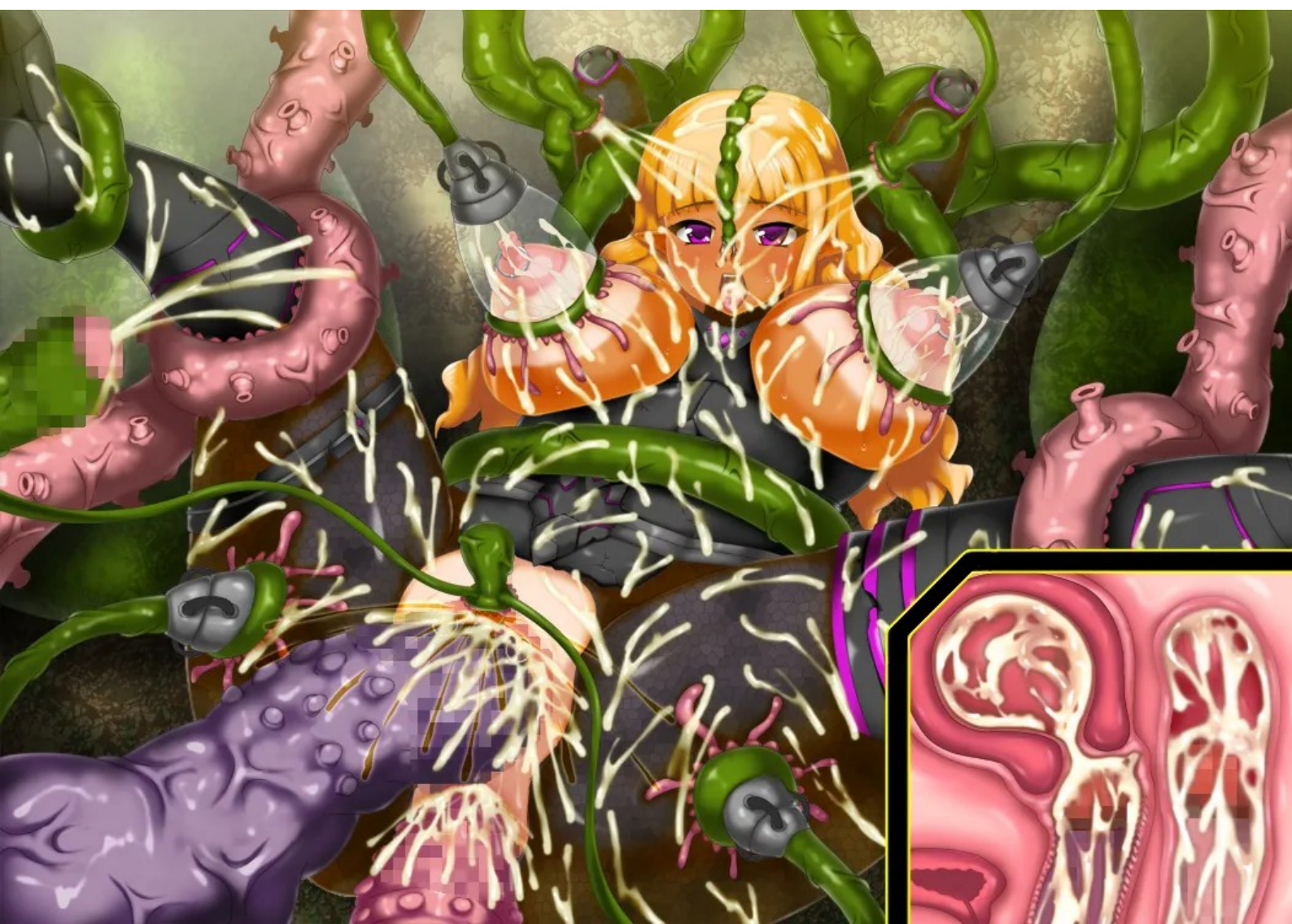




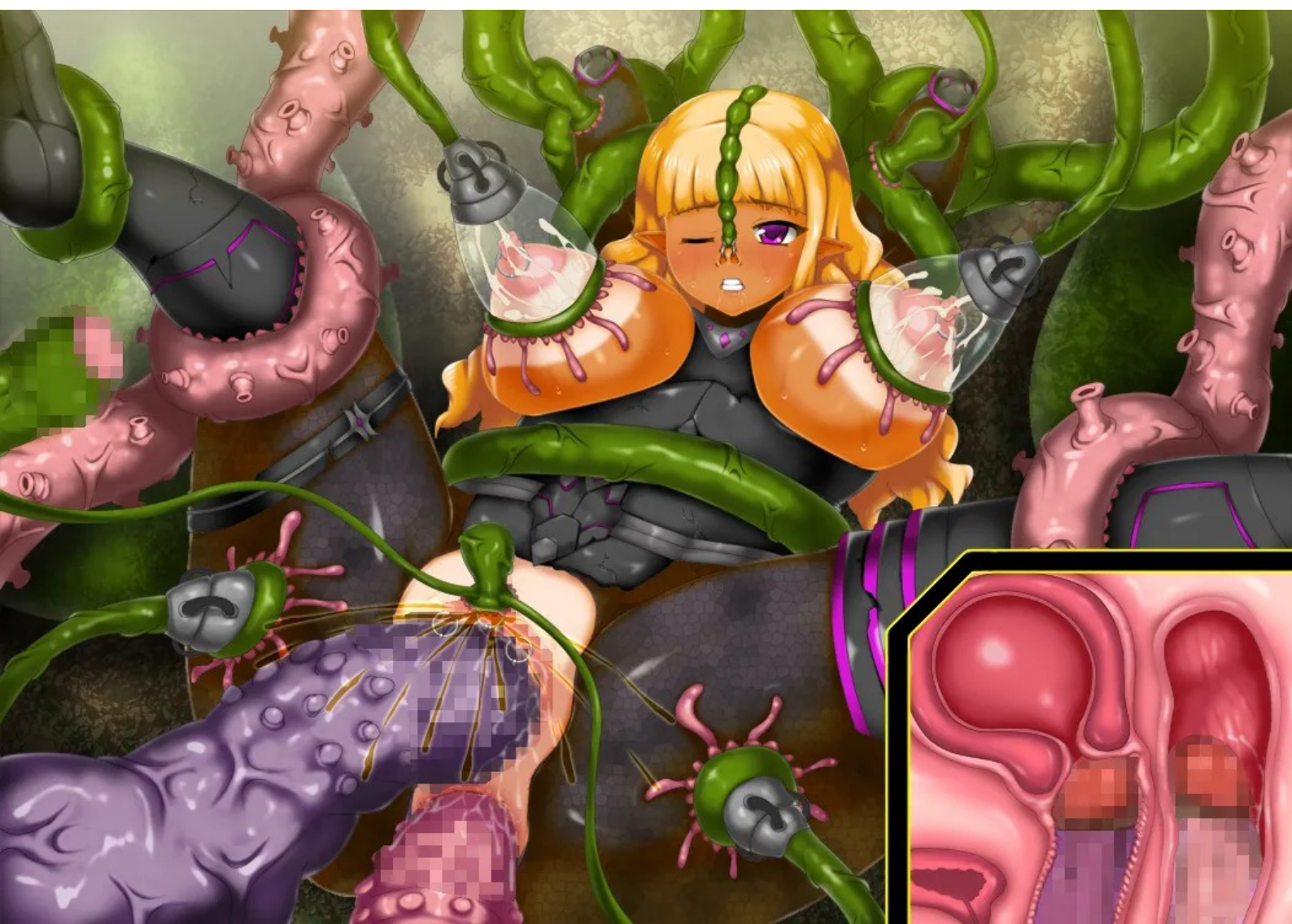


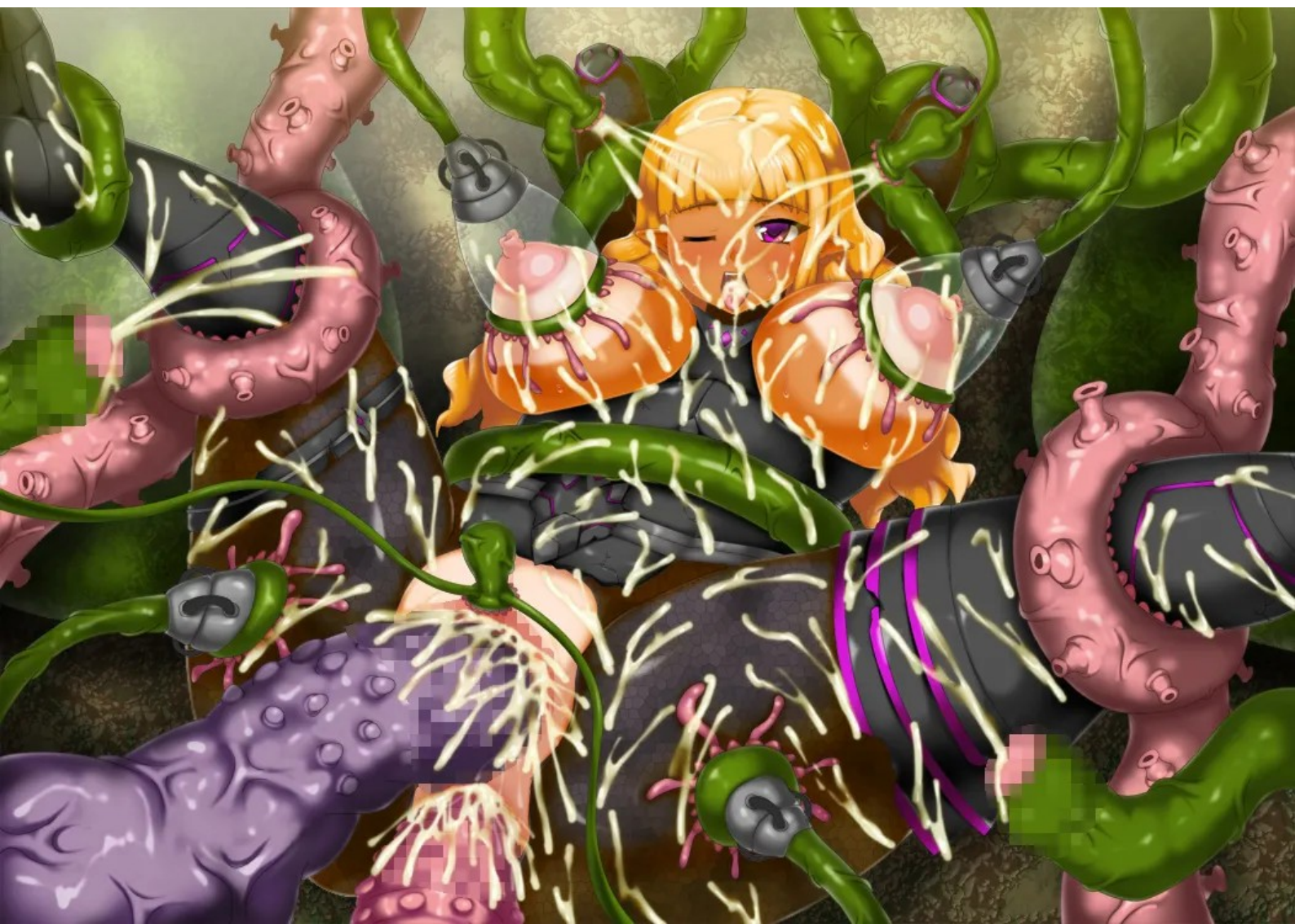


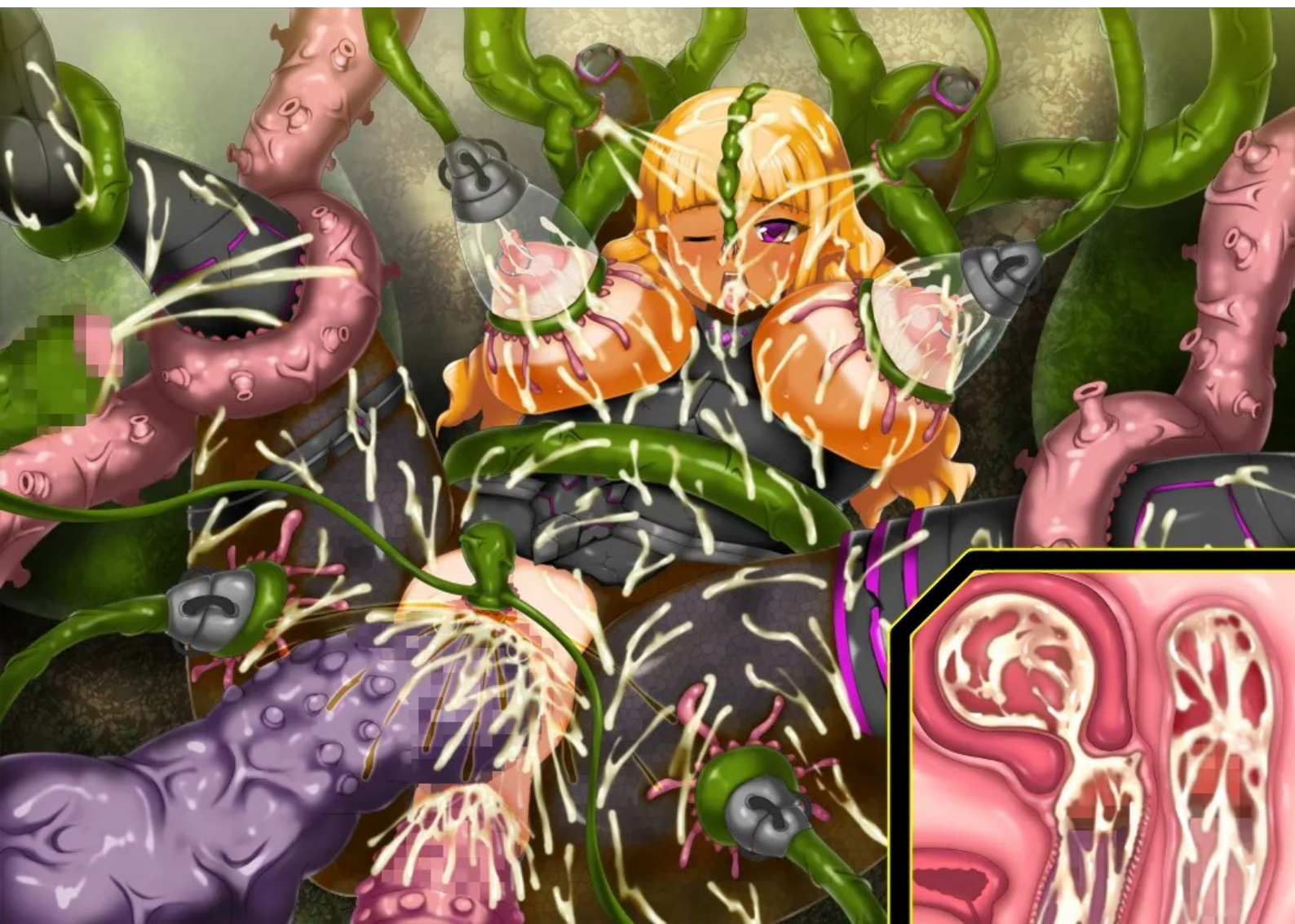






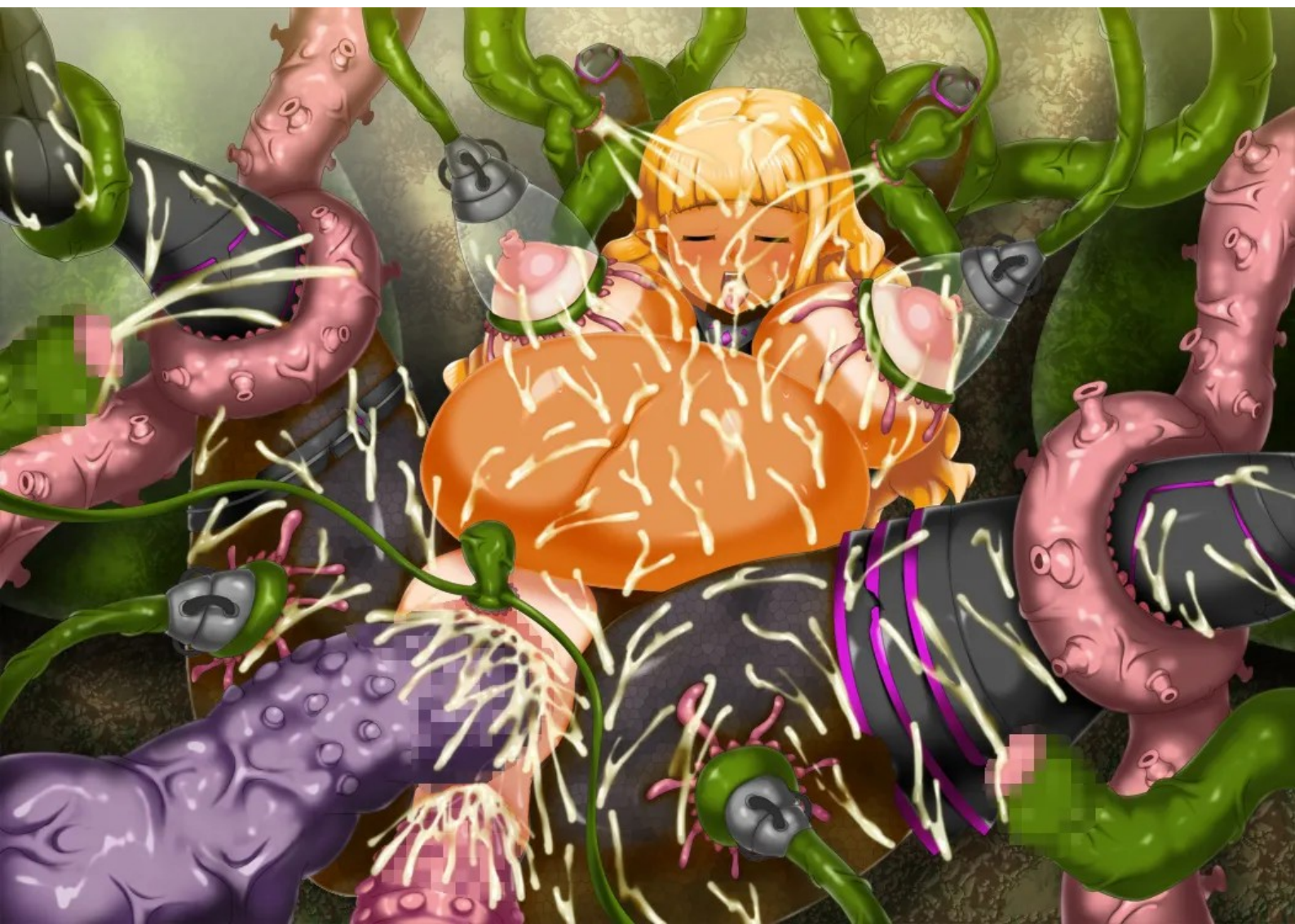








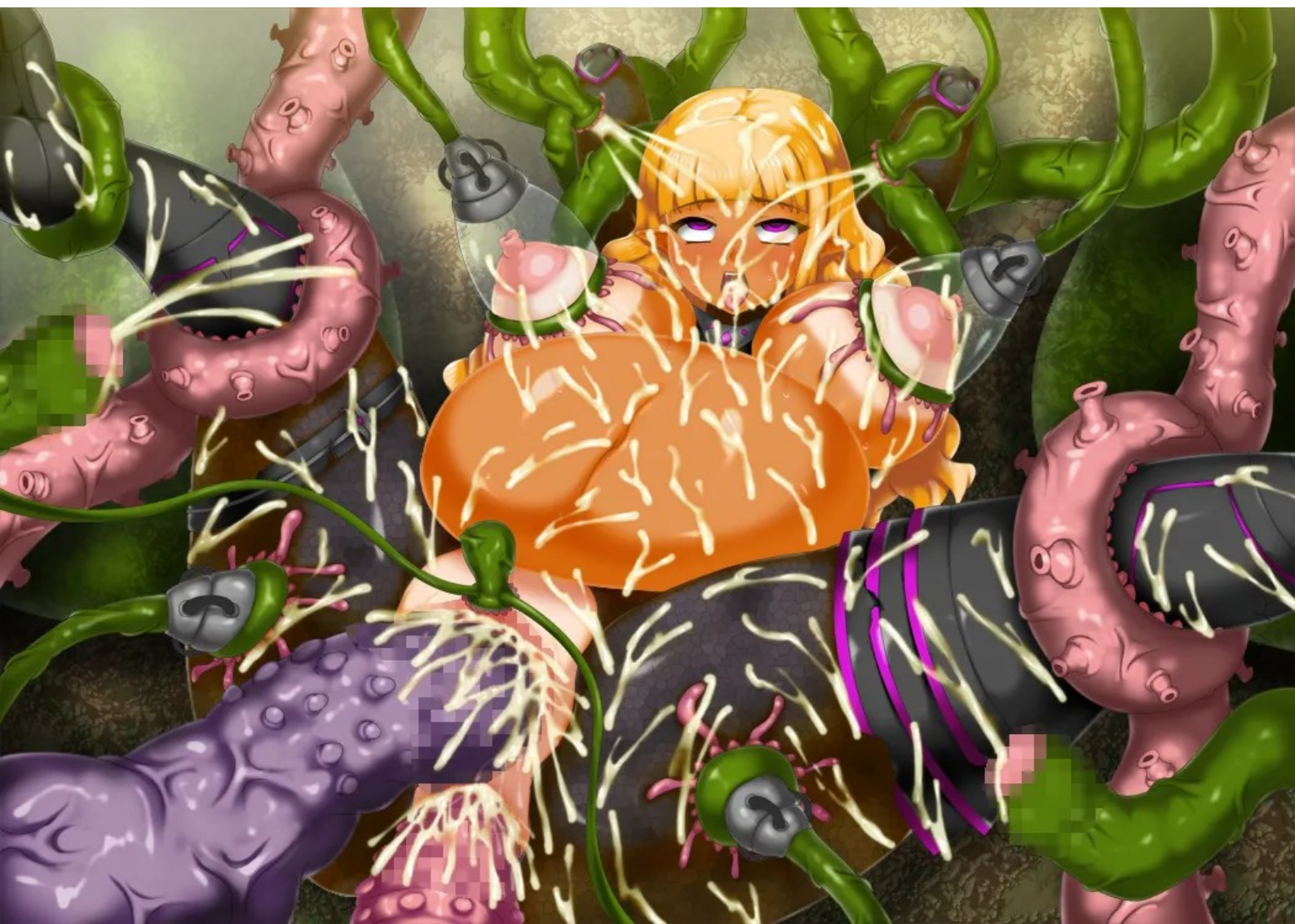


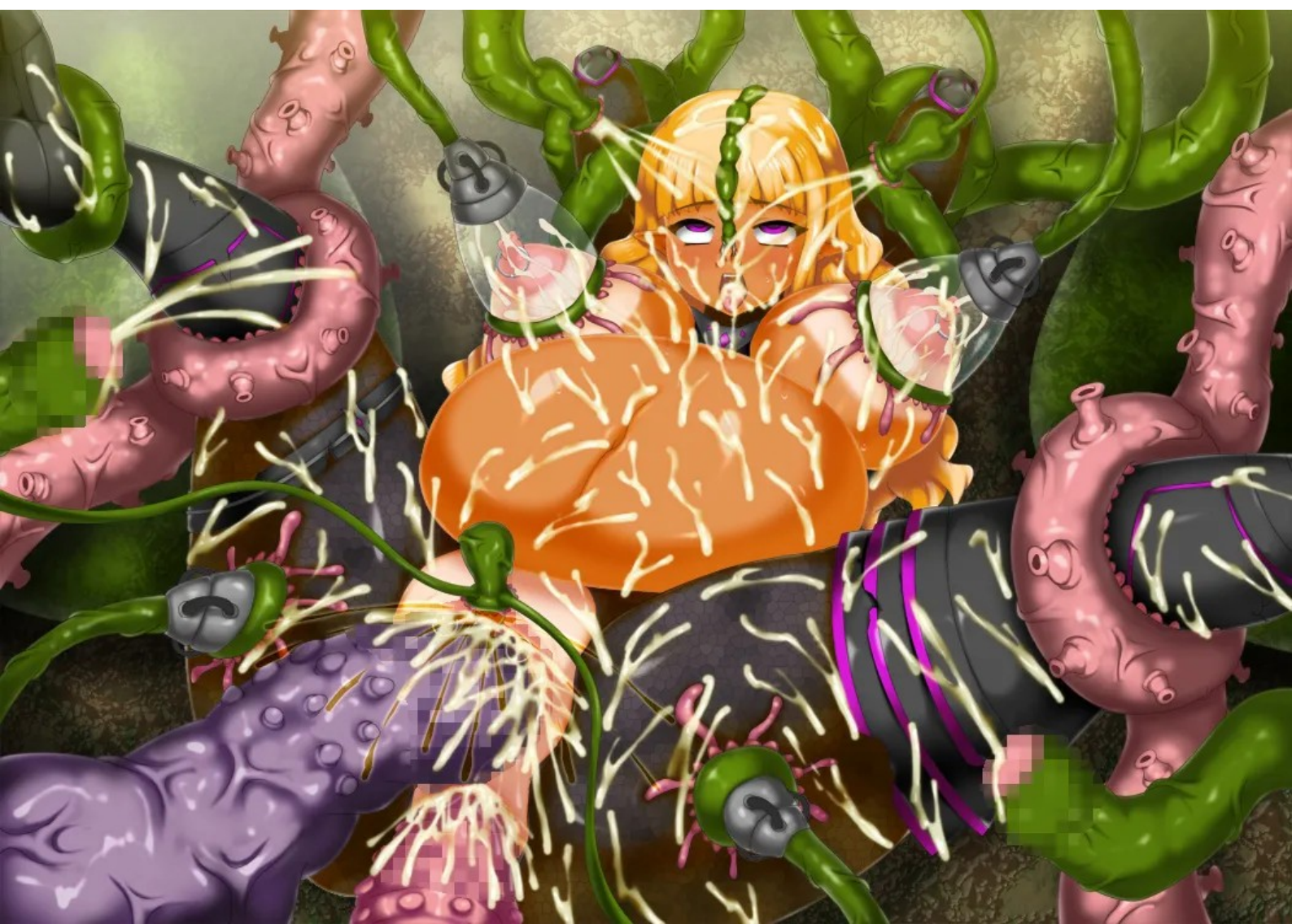








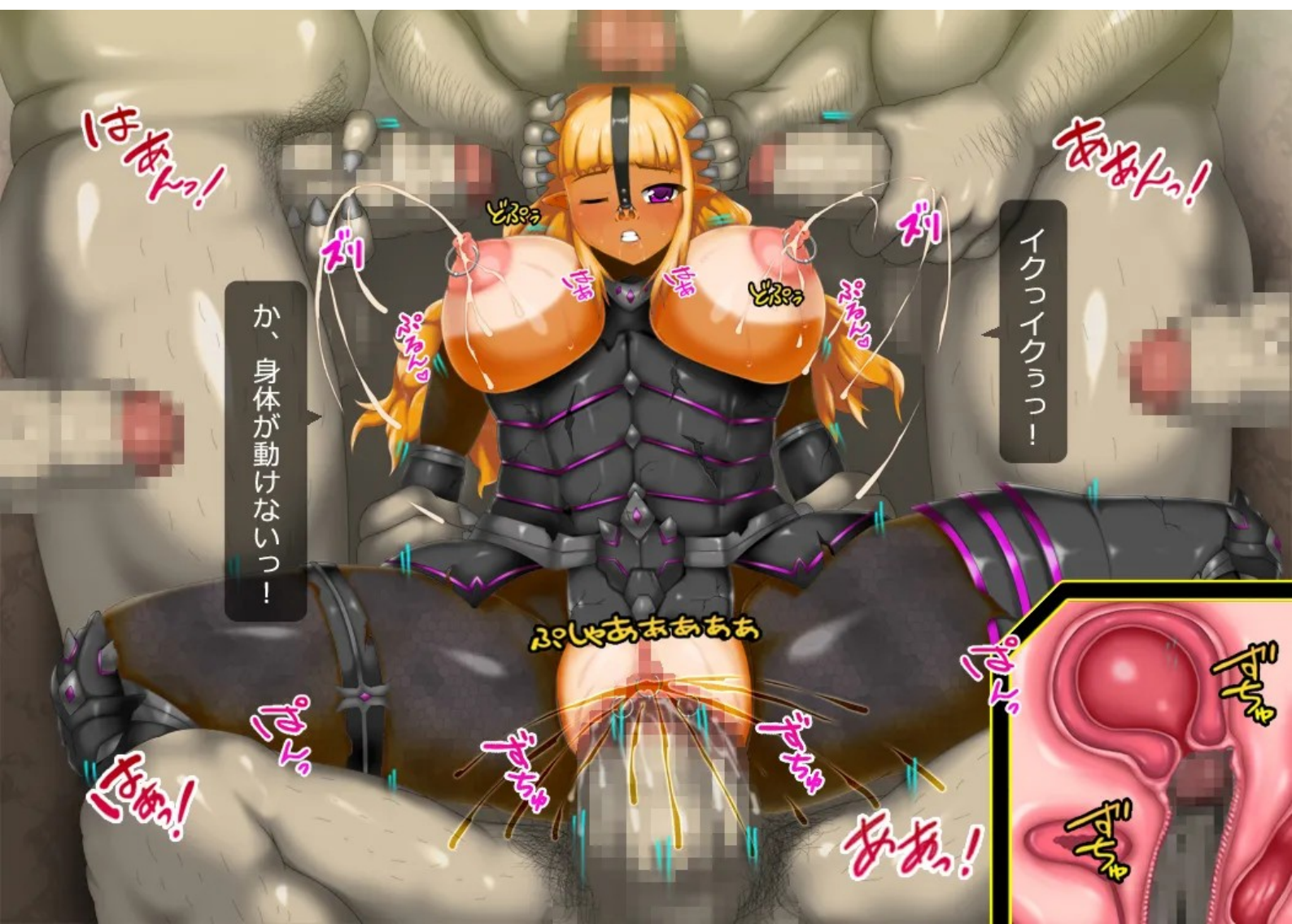




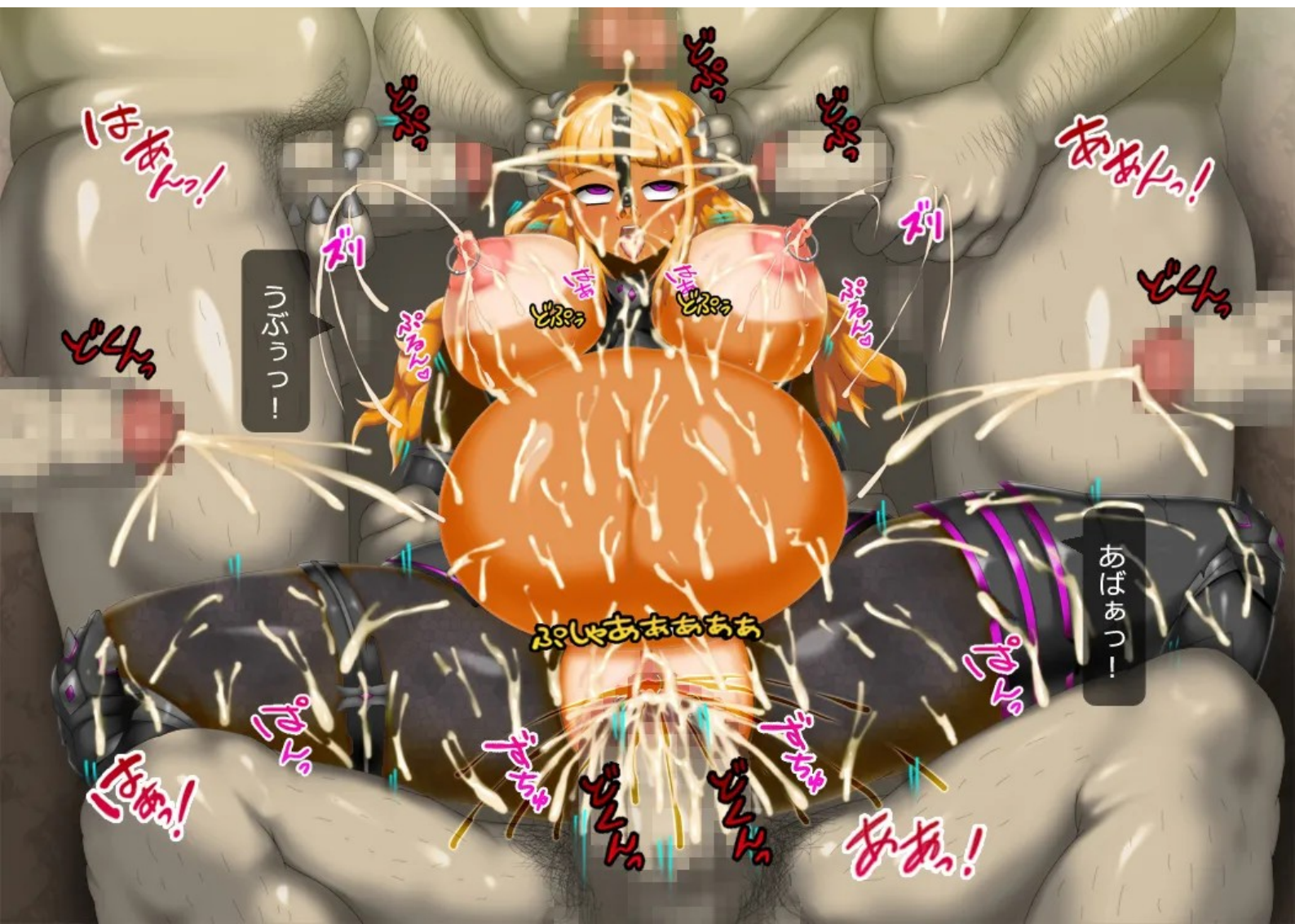


地下ダンジョンでモンスターの洞窟に挑んだダークエルフは、複数の重量型モンスターに襲われる。体力と物量によって、彼女の攻撃は段々無効化された。力に屈した後は醜く欲深いモンスター達に襲われる。強引に抱えあげられ、下から巨大な男根で陰部内を突き上げられる。他のモンスター達は我慢できず自慰にふける。強烈な刺激に彼女の意識は飛んでいく。大型モンスター達の大量の精液が彼女の身体に注ぎこまれたのだった・・・。









はぁん!

あぁん!

うんうん...

あばあっ!

ふしやああああ

はぁん!

あぁん!

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズ





























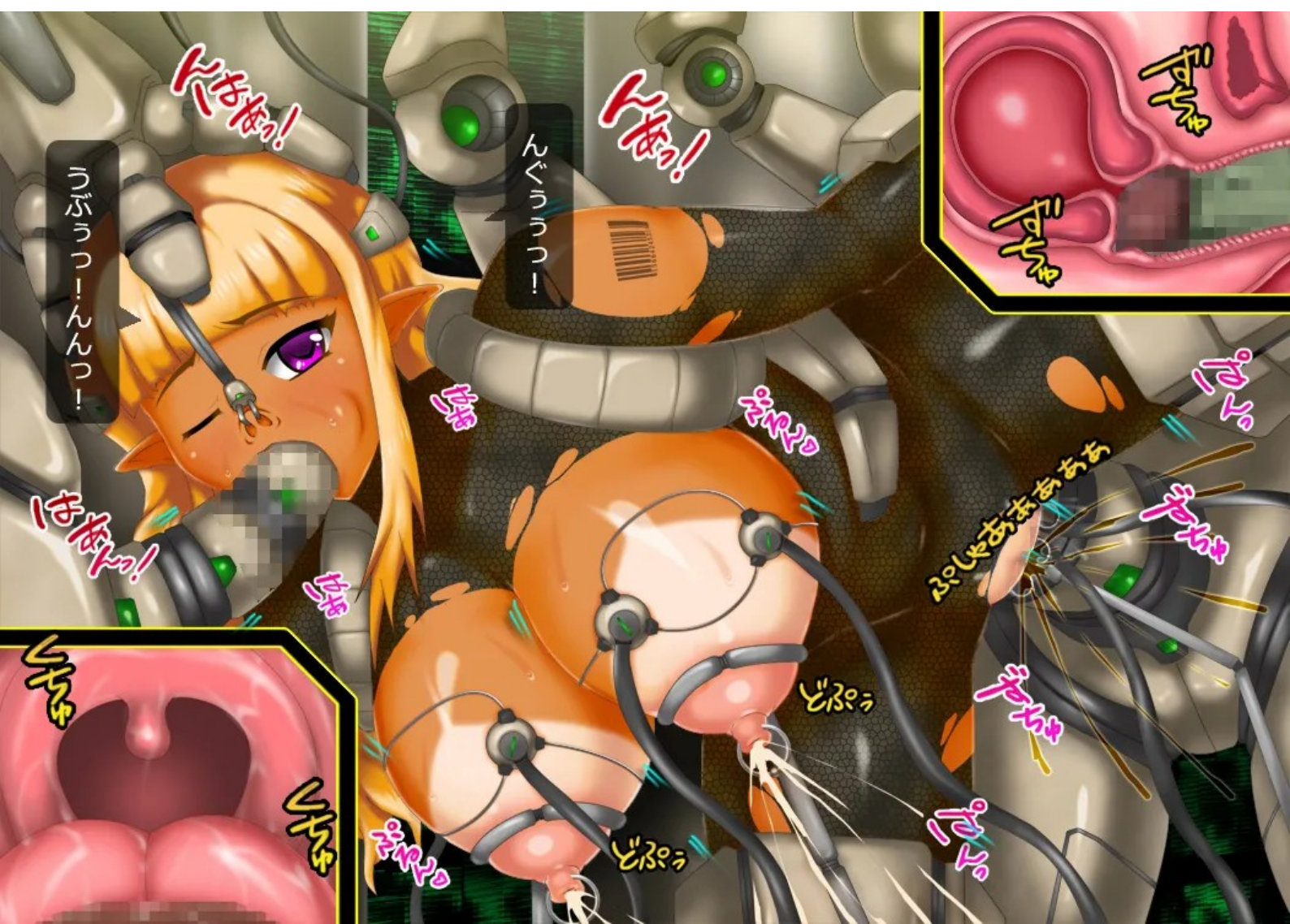






機械化された要塞には、複数の機械モンスターが配置されていた。攻撃を無効化するバリア、強力な武器によりダークエルフは戦いに敗れた。着用していた鎧は破壊され、防御スーツのみの姿にされる。機械アームが身体をがっちりと固定する。男根型のアームは口と陰部に挿入され、ピストン運動をし続ける。露になった乳房にはコードのついた装置が取り付けられ、刺激を与えているようだった。身動きのできないまま、精液のような液体を身体に注入される。彼女は機械のシステムの一部になるしかなかったのだ・・・。







んあぁ!!

んあぁ!!

んあぁ!!

はぁん!!

んあぁ!!

んあぁ!!

んあぁ!!

んあぁ!!

んあぁ!!

んあぁ!!

んあぁ!!

んあぁ!!

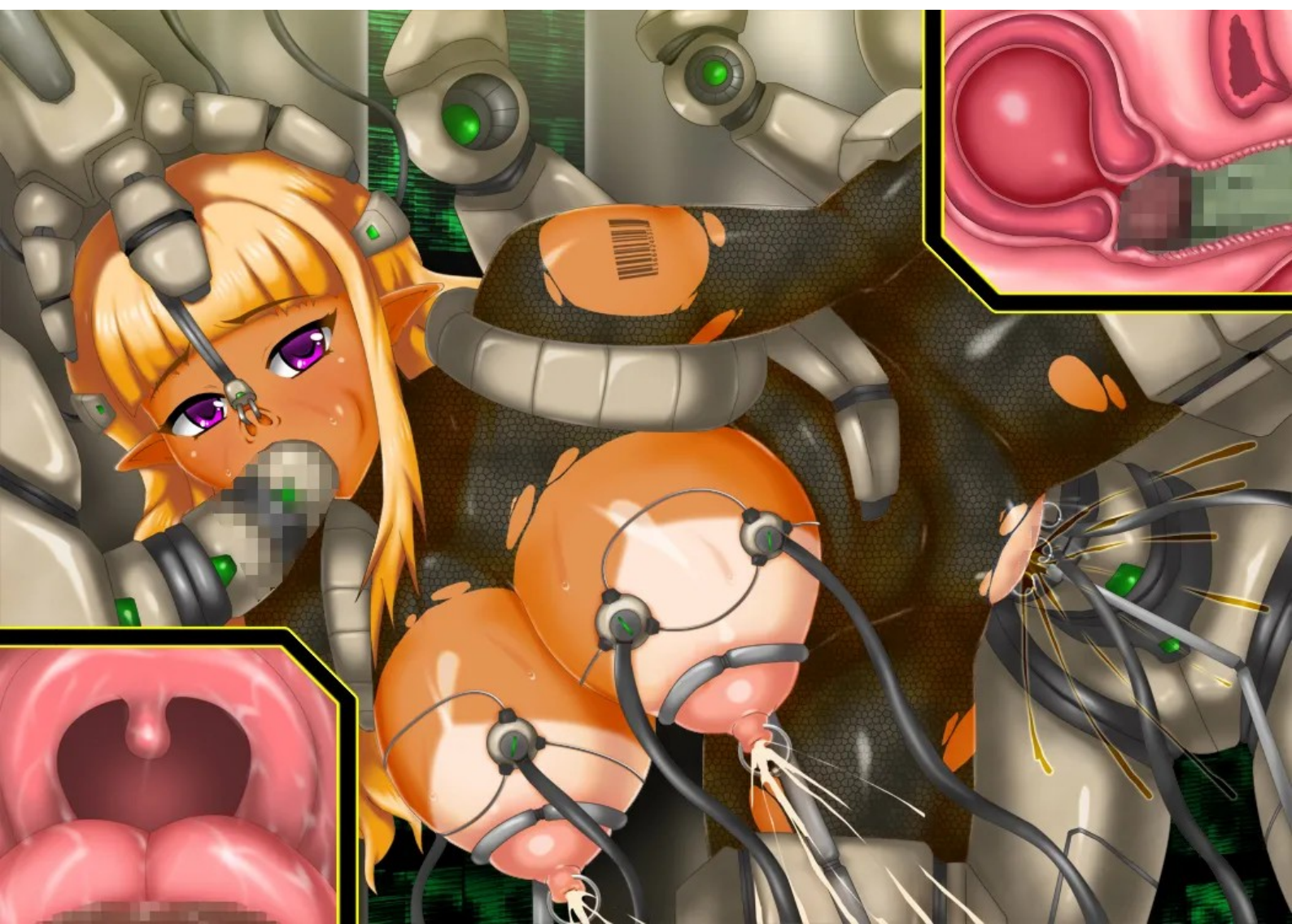
んあぁ!!

んあぁ!!

んあぁ!!



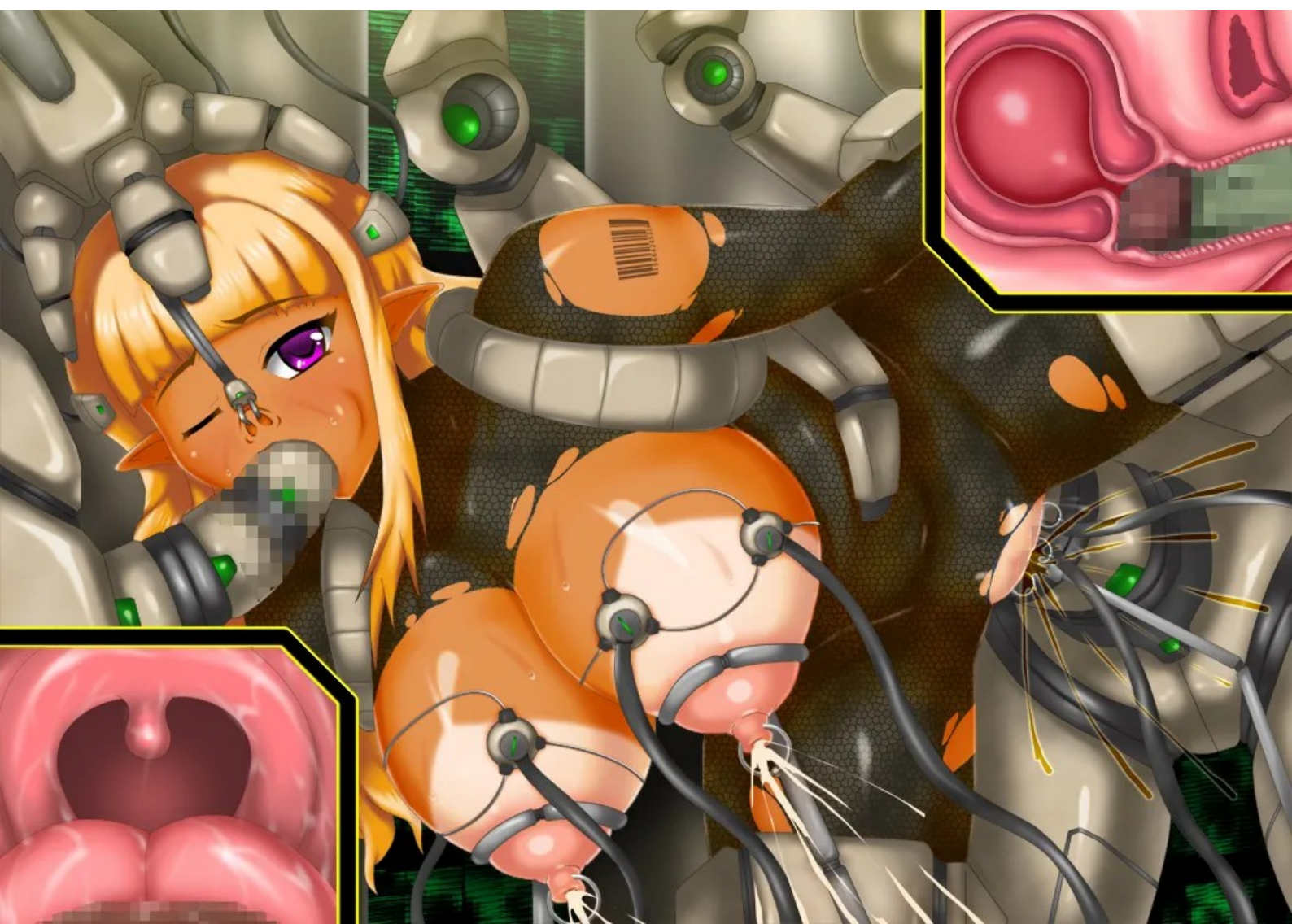


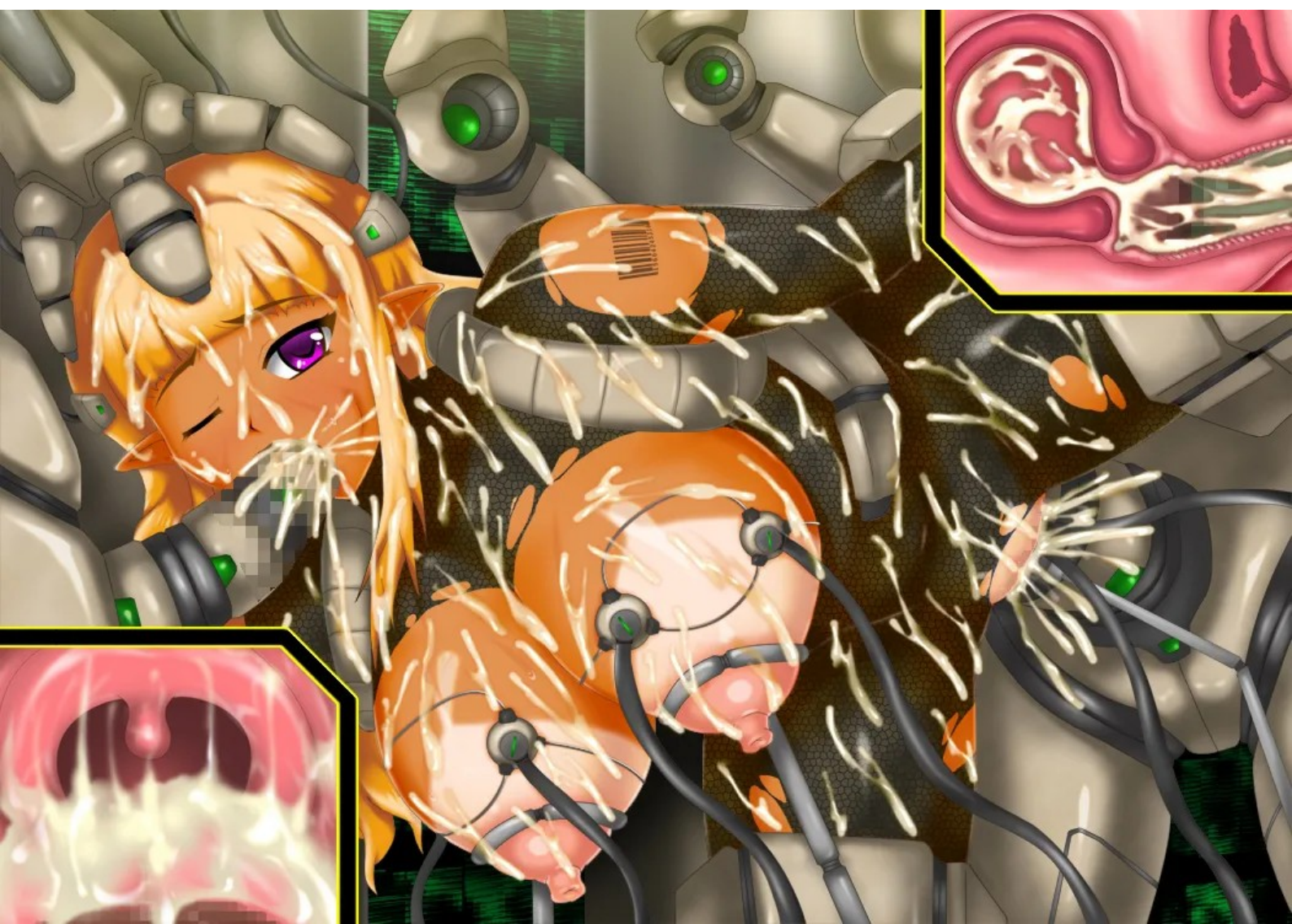


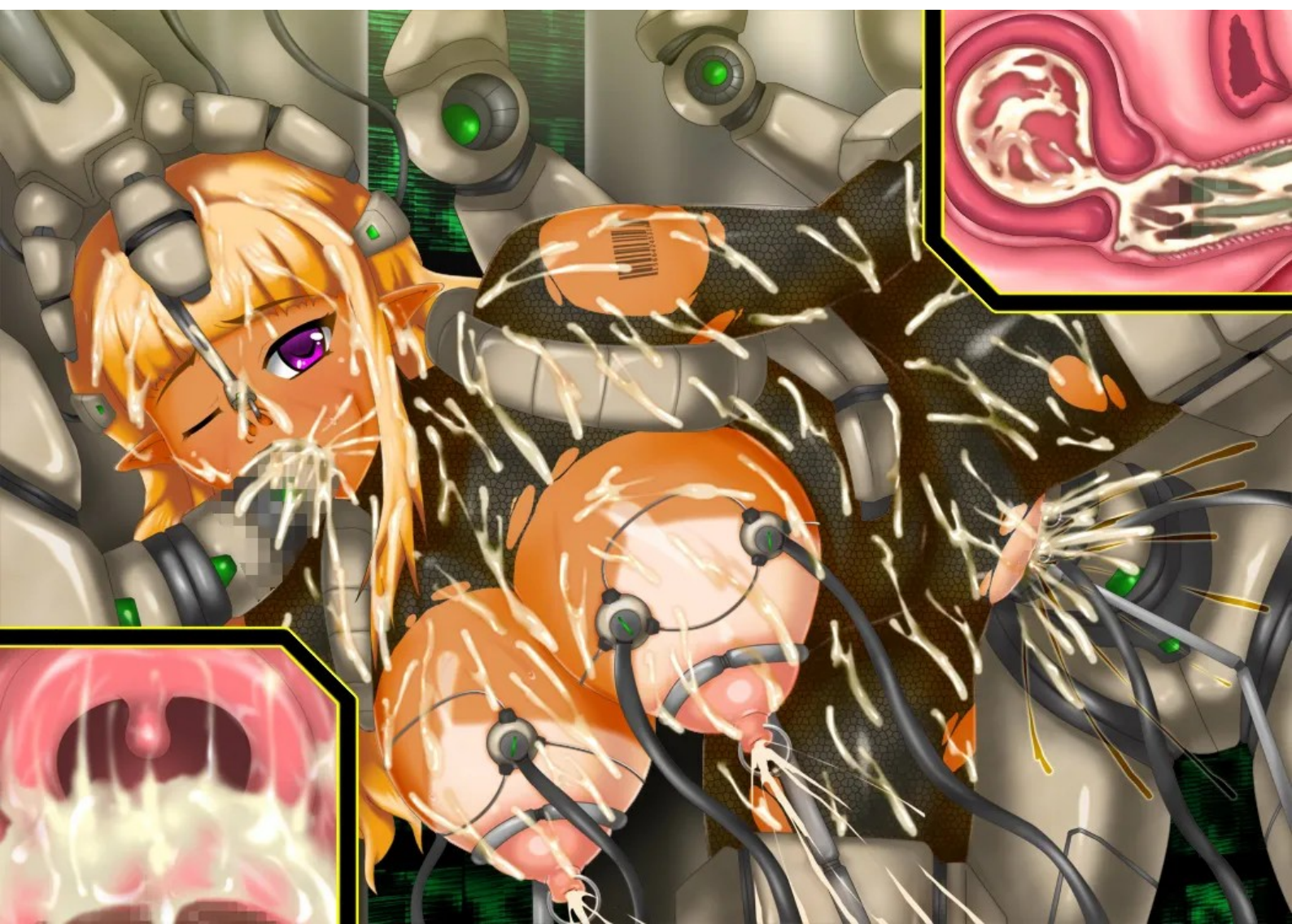














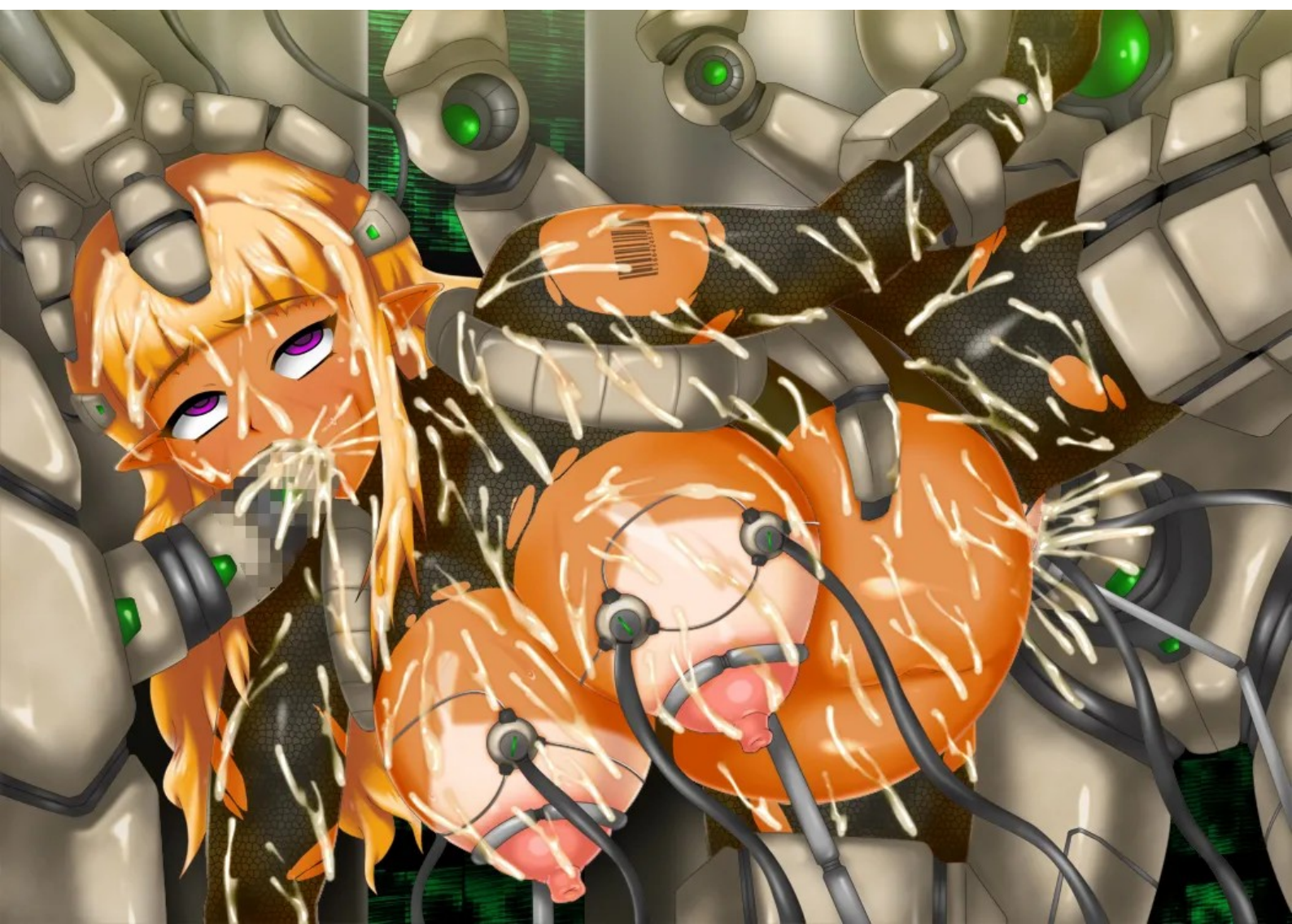


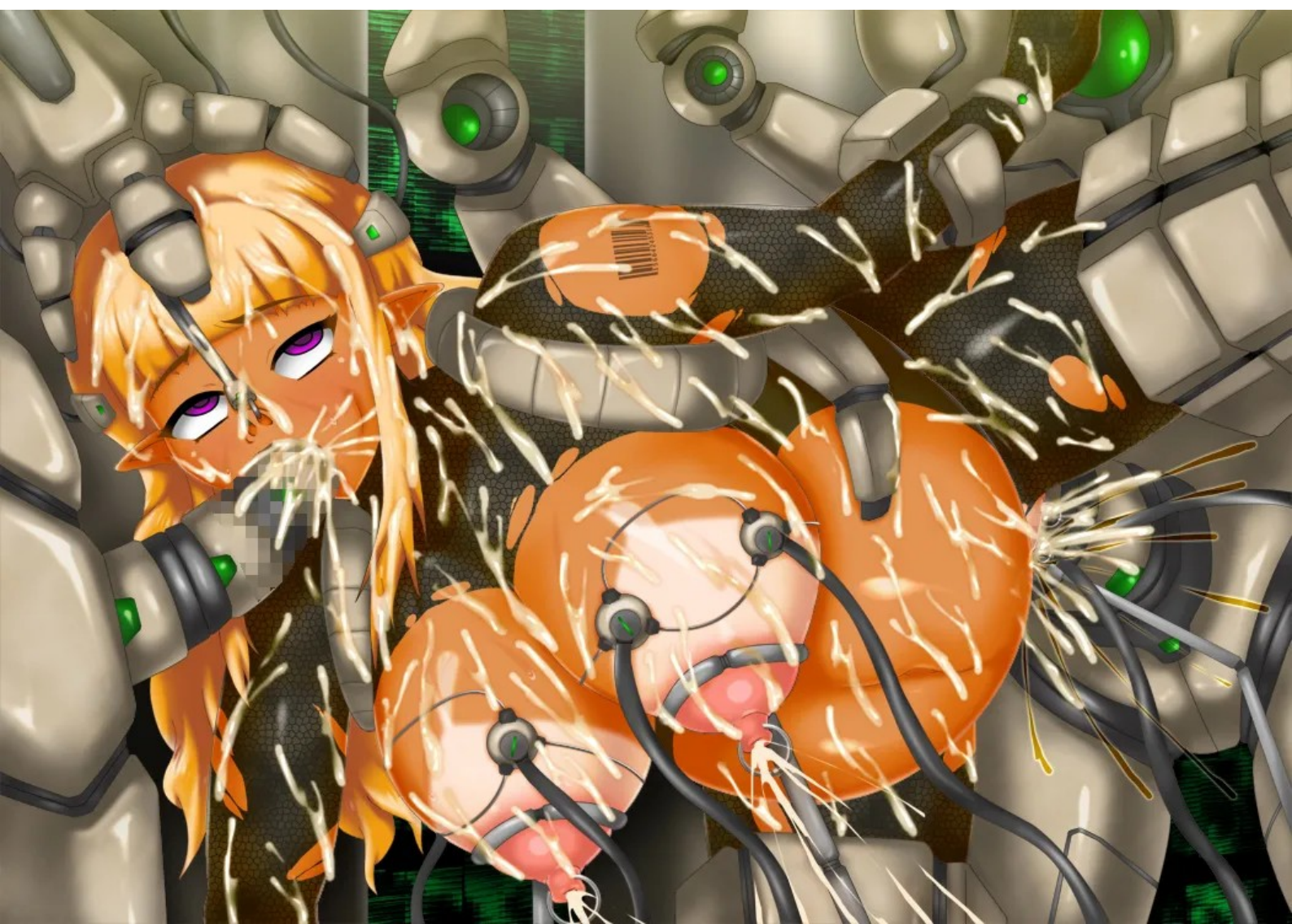














朝目覚めると、そこには制服姿をした巨乳ダークエルフが上に覆いかぶさっていた。勃起した男根は彼女の陰部にズッポリと挿入され、リズムカルに上下運動されていた。彼女は不適な笑みを浮かべながら、激しく腰を動かす。制服からもれた豊満な乳房が揺れまくる。柔らかい質感と快感が満たされた途端、絶頂によって彼女の膣に精液をぶちまけた。彼女は嬉しそうにその表情を楽しんでいるようだった・・・。





はぁん!

はぁん!

あはあつ!
出るぞおー!

あぁ!

げげ

ぽんぽん

ぽんぽん

どぽっ

どぽっ

ぽんぽん

げげ

ずず

ずず

うはあつ!奥まで
届くうっつ!

ふしゃああああ

げげ

ぽんぽん





はぁん!

はぁん!

んばあっあっ!

あぐあっあっ!

あぁ!

やめ

やめ

やめ

どろろ

どろろ

やめ

どろろ

どろろ

どろろ

ふいああああ

どろろ



































作業中、暇をもてあました巨乳ダークエルフは豊満な乳房をいやらしく見せつける。それに興奮せずにはいられず、勃起した男根は押さえきれなかった。彼女は乳房を男根挟み込み、嬉しそうにパイオリを始める。ムニユムニユした感触と共に、激しく上下運動される。彼女は乳房を自ら揉みしだきながら、自らも感じていた。我慢できなくなった男根から大量の精液が口の中や、顔中にぶちまけられた。彼女は嬉しそうにその精液を飲み込み味わったのだった。。。。



貴様のオチ○ポが擦れて
気持ちイイぞっ！

どうだ私のおっぱいの
感触はあ？

はぁっ！

んぁっ！

あぁっ！

あぁ

あぁ

むぎゅ

むぎゅ

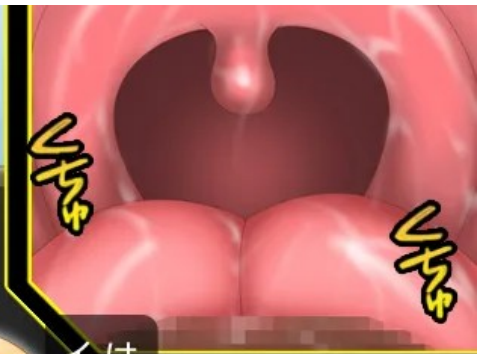
むぎゅ

むぎゅ



んあぁ!

あはあっーおっぱい
出すぞぉー!



くちゅ

くちゅ

はああっーイク
イックうー!

はあぁ!

あぁ!

どろろ

むぎゅ

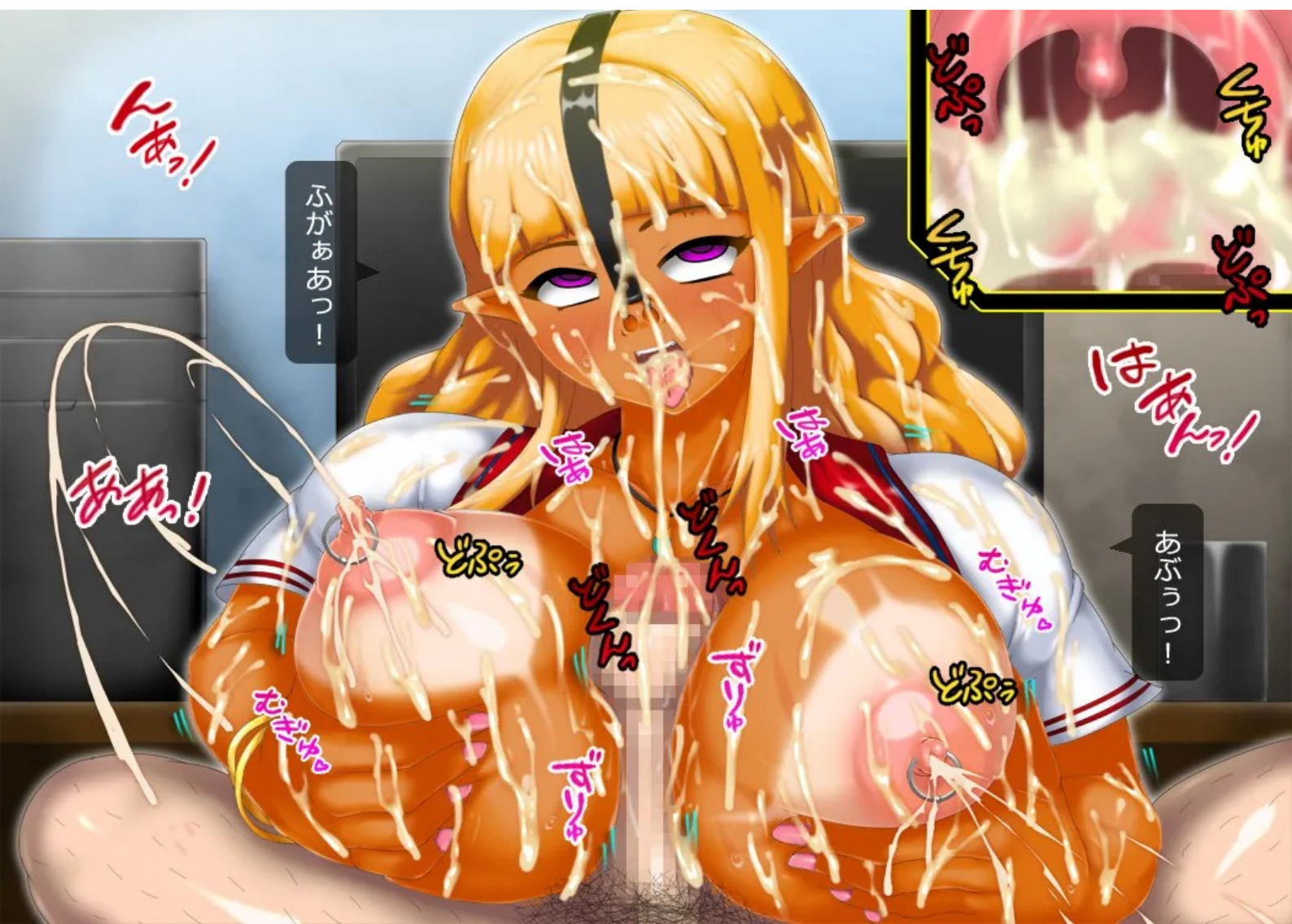
むぎゅ

むぎゅ

どろろ

むぎゅ





んあっ!

ふがああっ!

ぐちゃぐちゃ
ぐちゃぐちゃ
ぐちゃぐちゃ

はぁっ!

あぶっ!

あぁっ!

どろろ

どろろ

どろろ

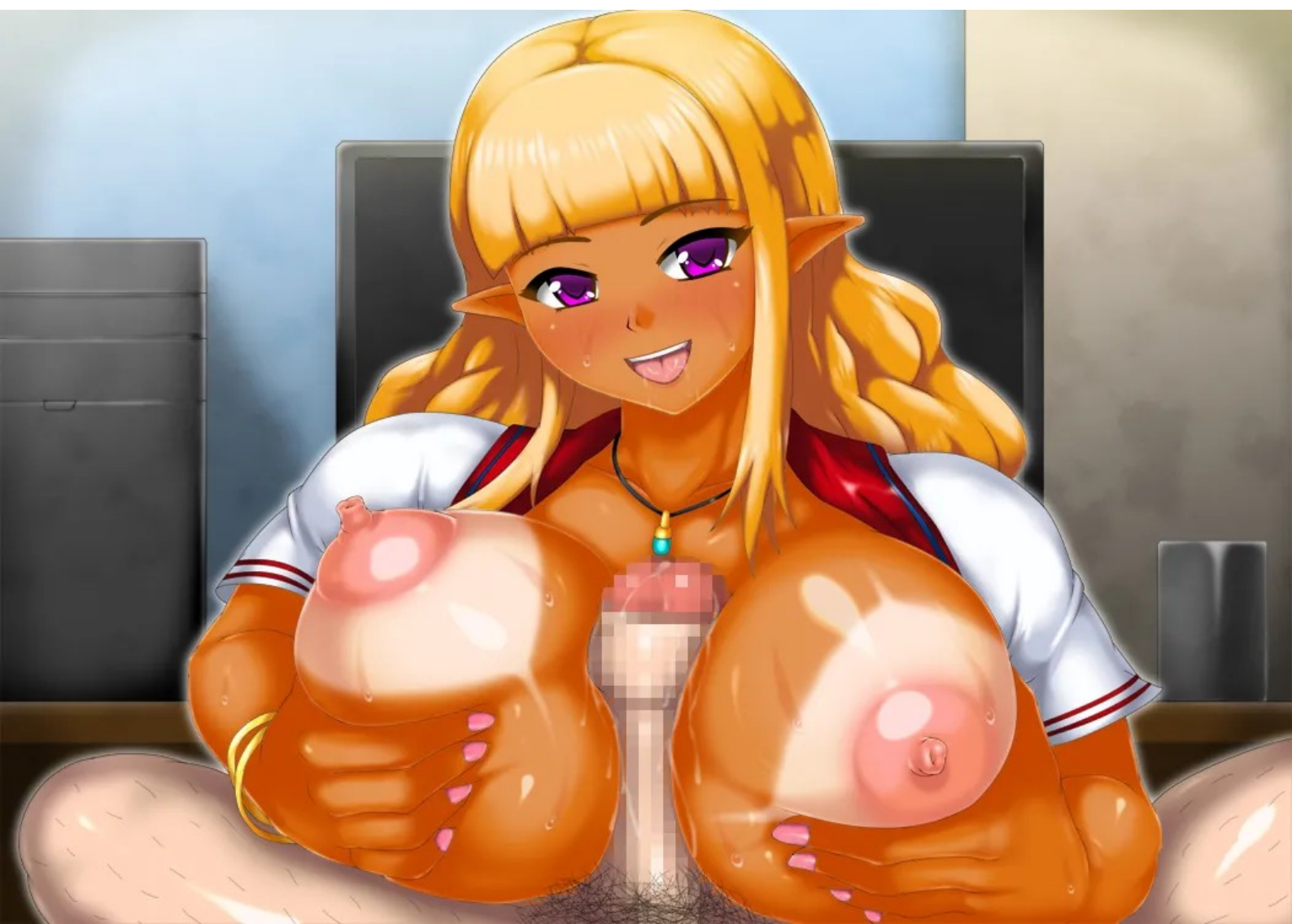
ぐちゃぐちゃ

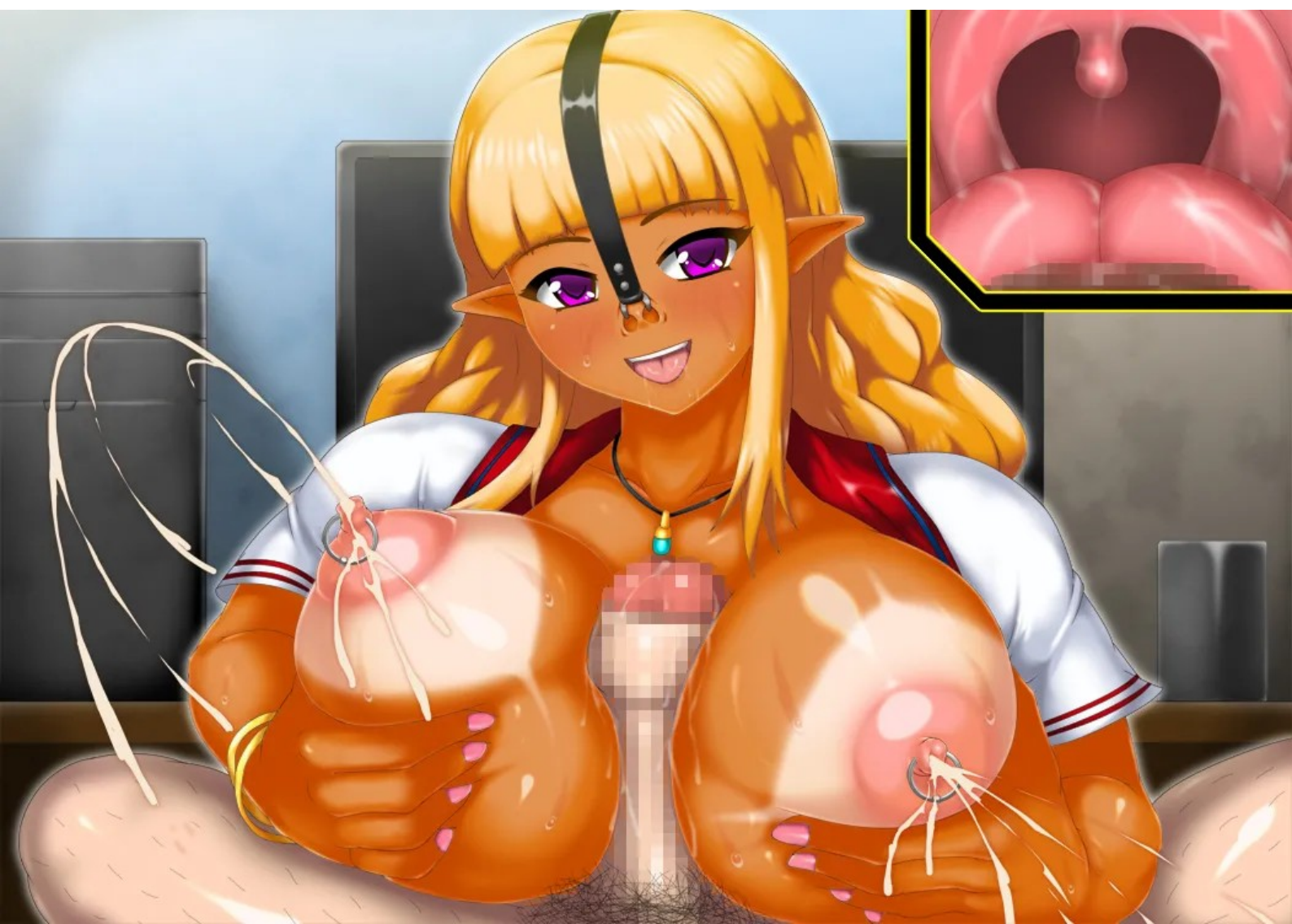
どろろ

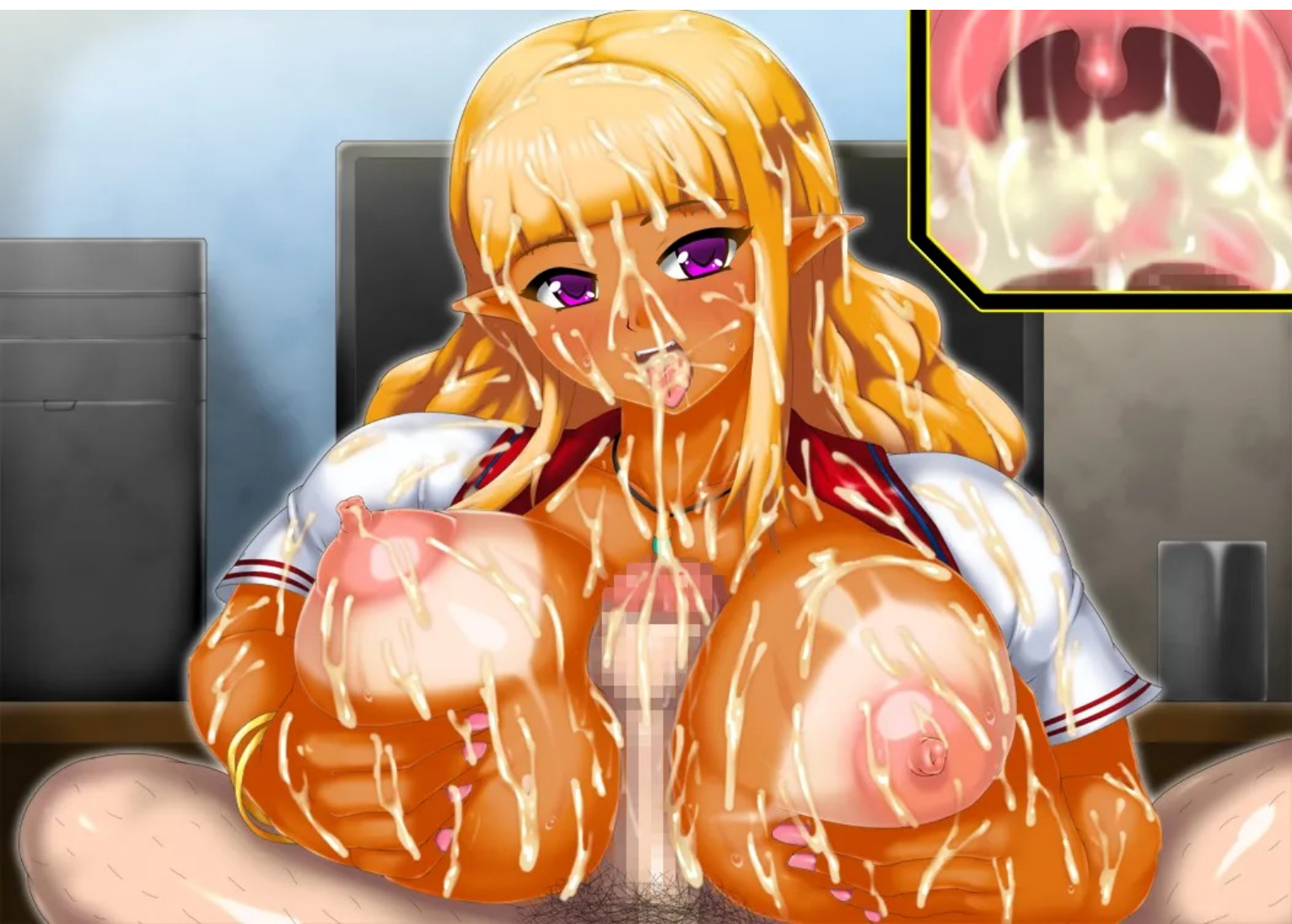
ぐちゃぐちゃ

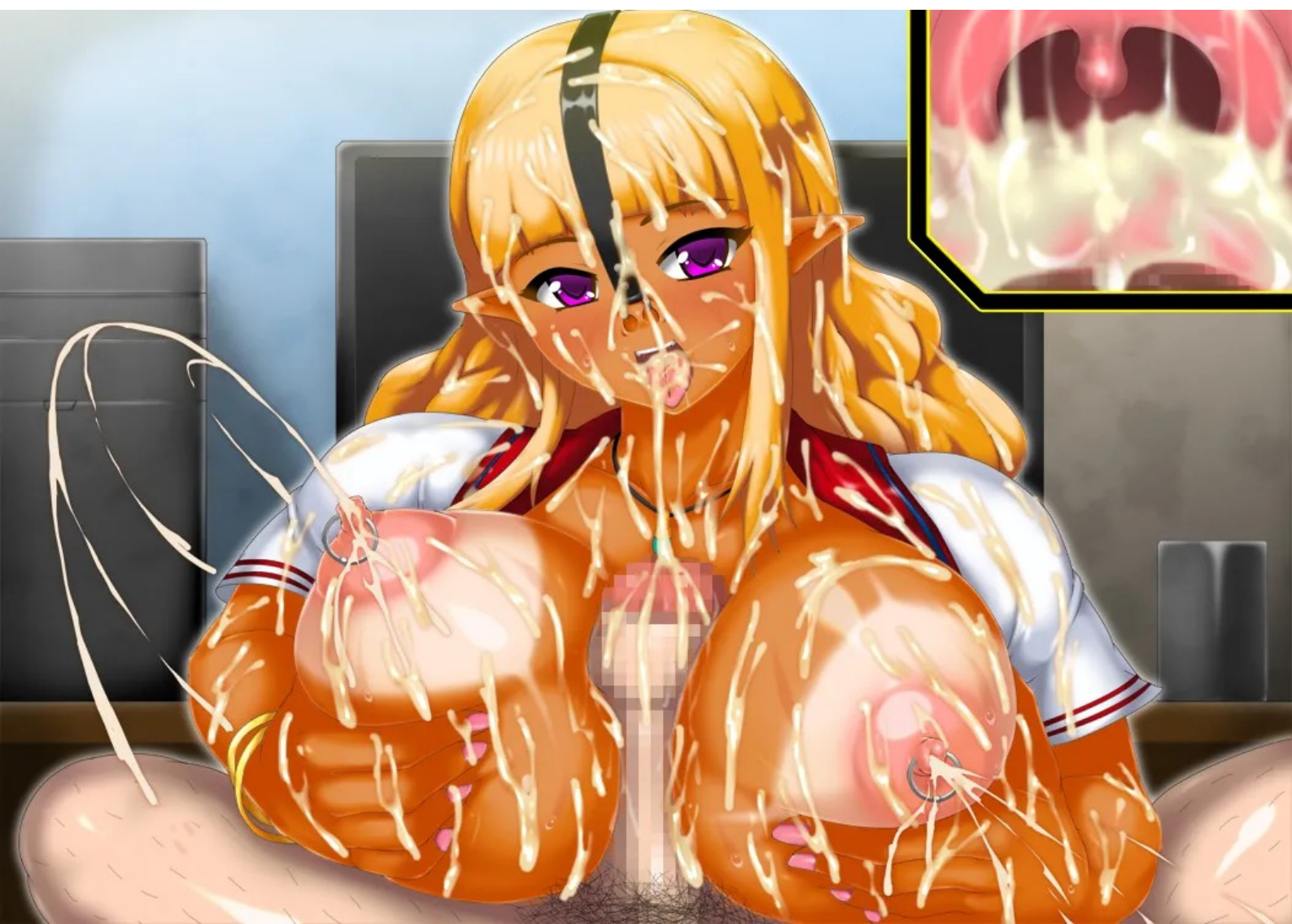
ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ



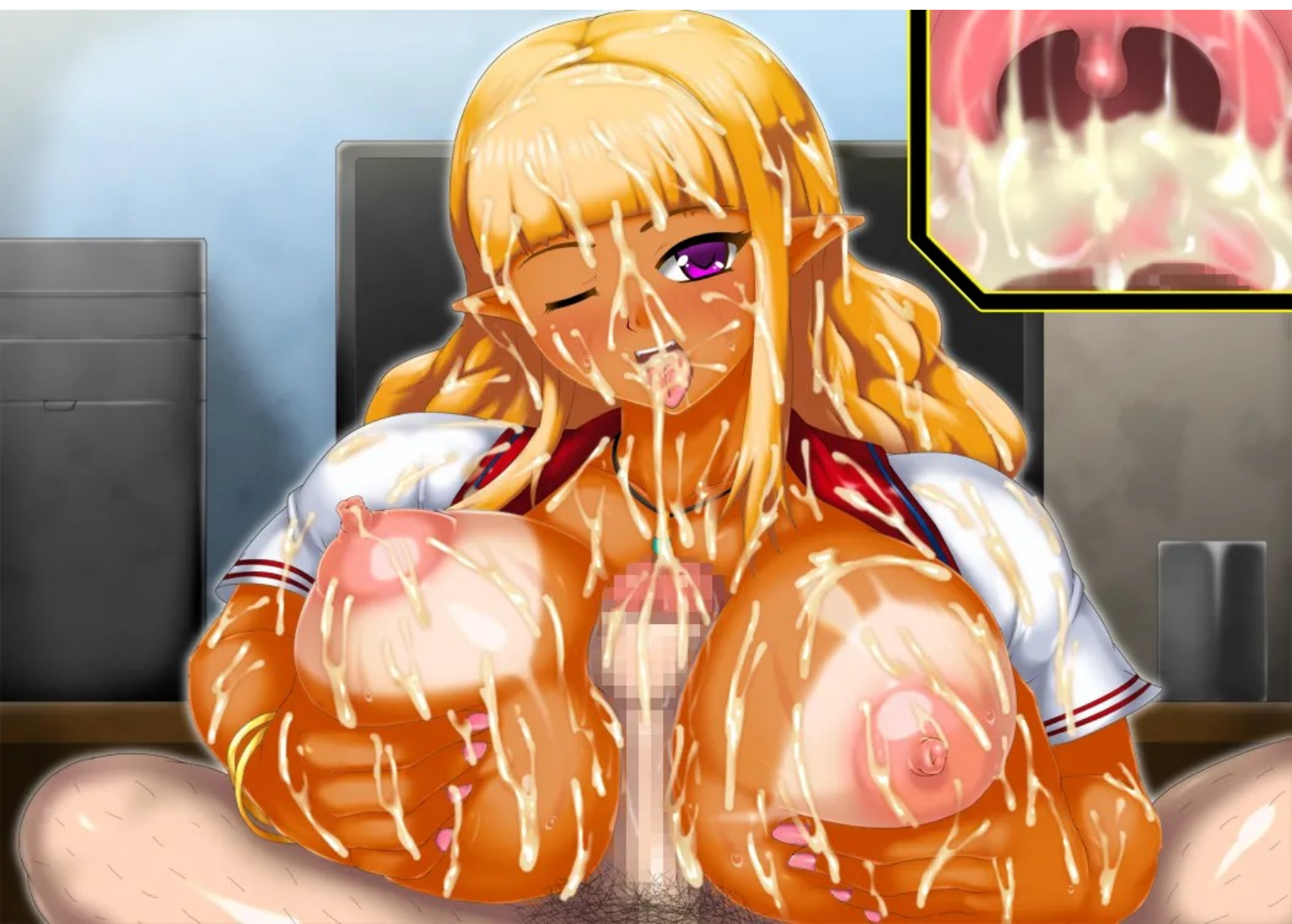


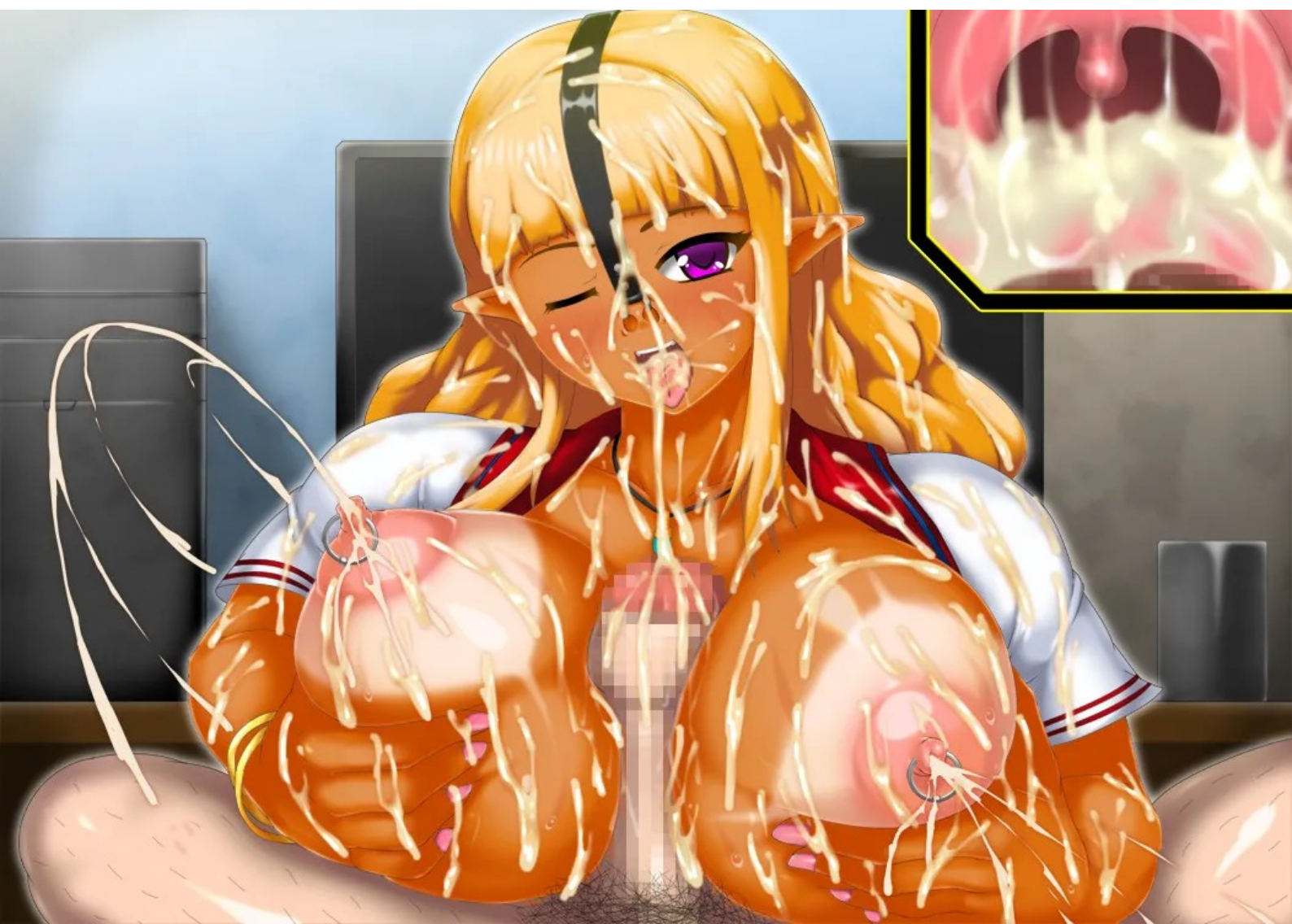






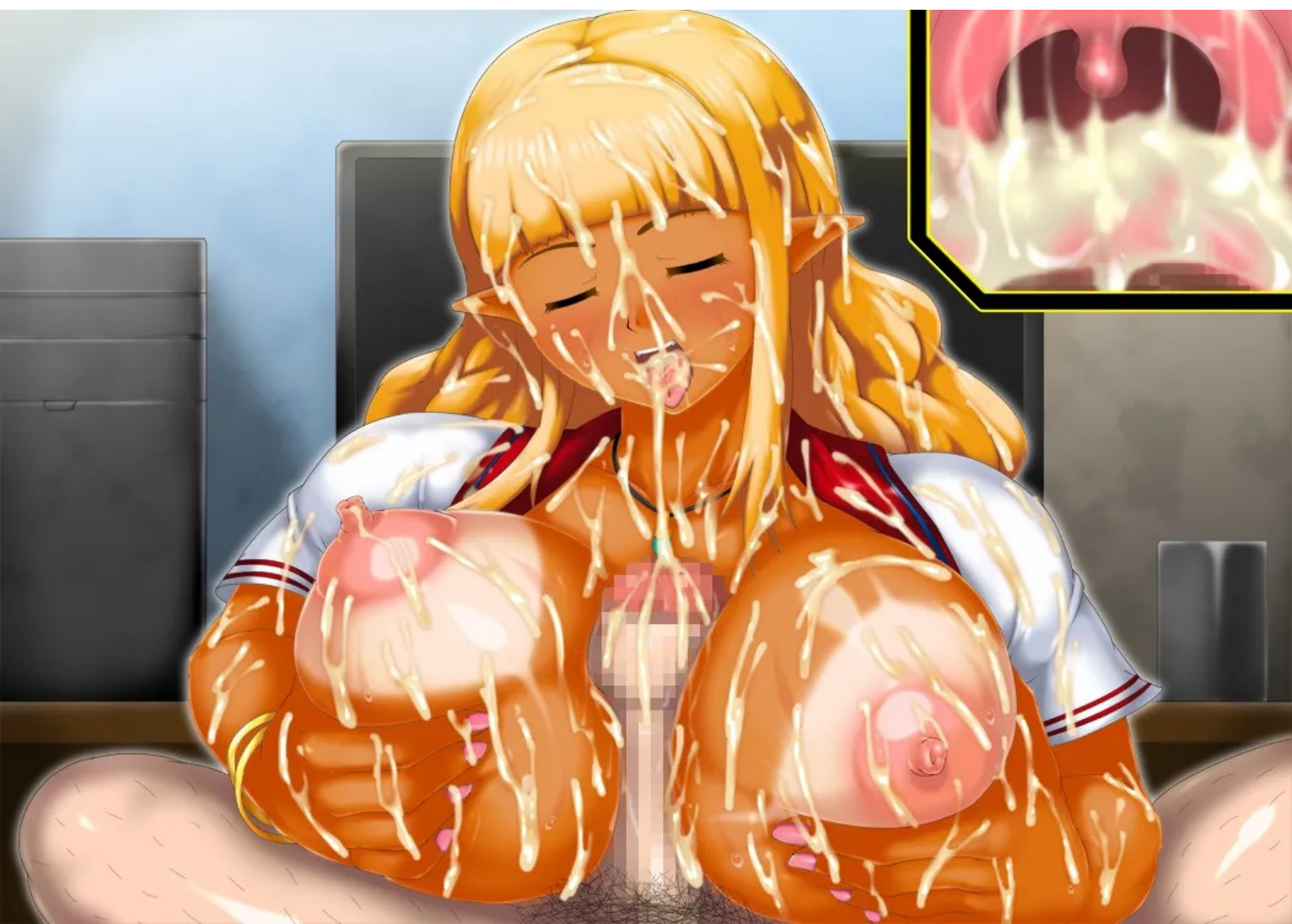


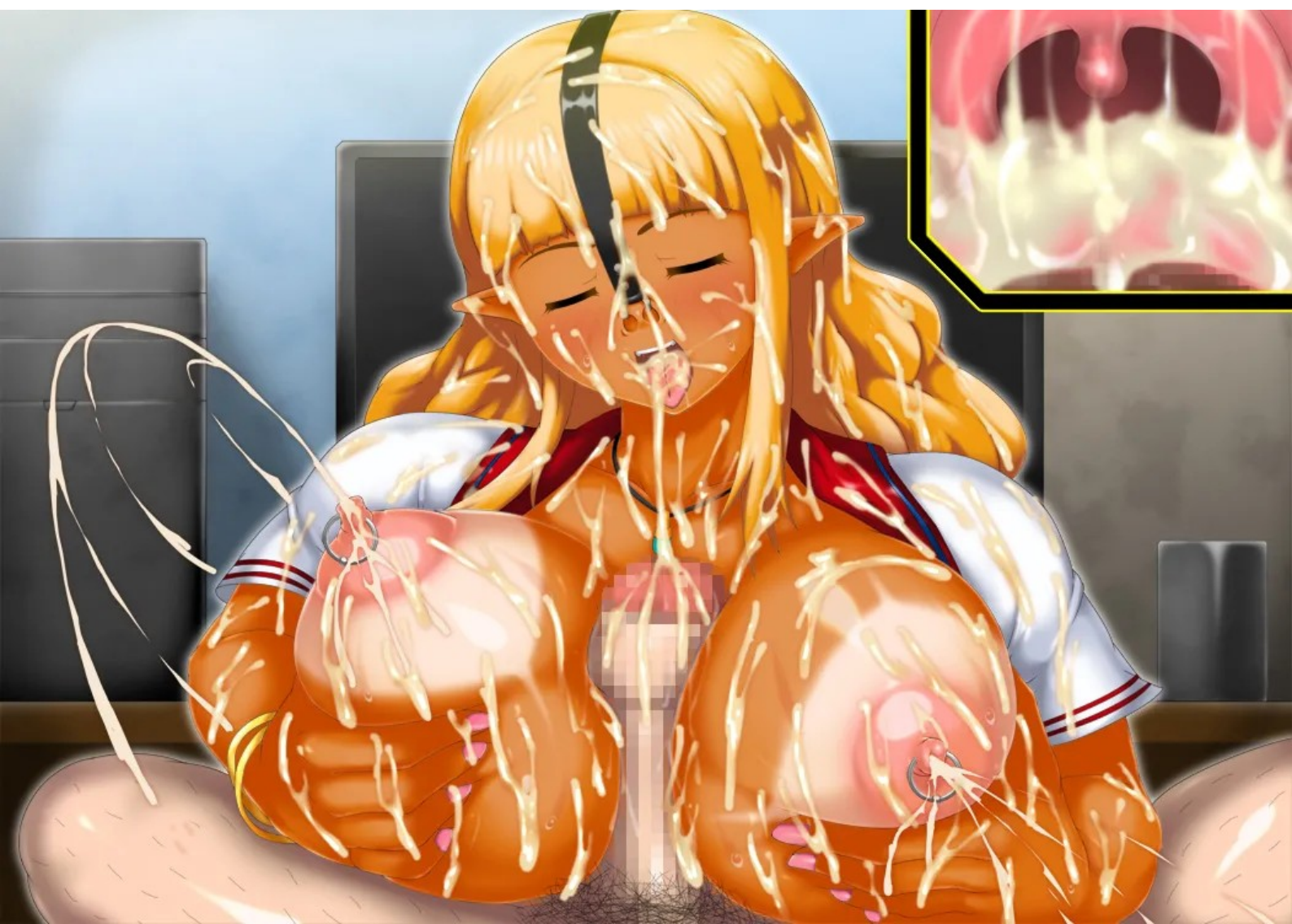


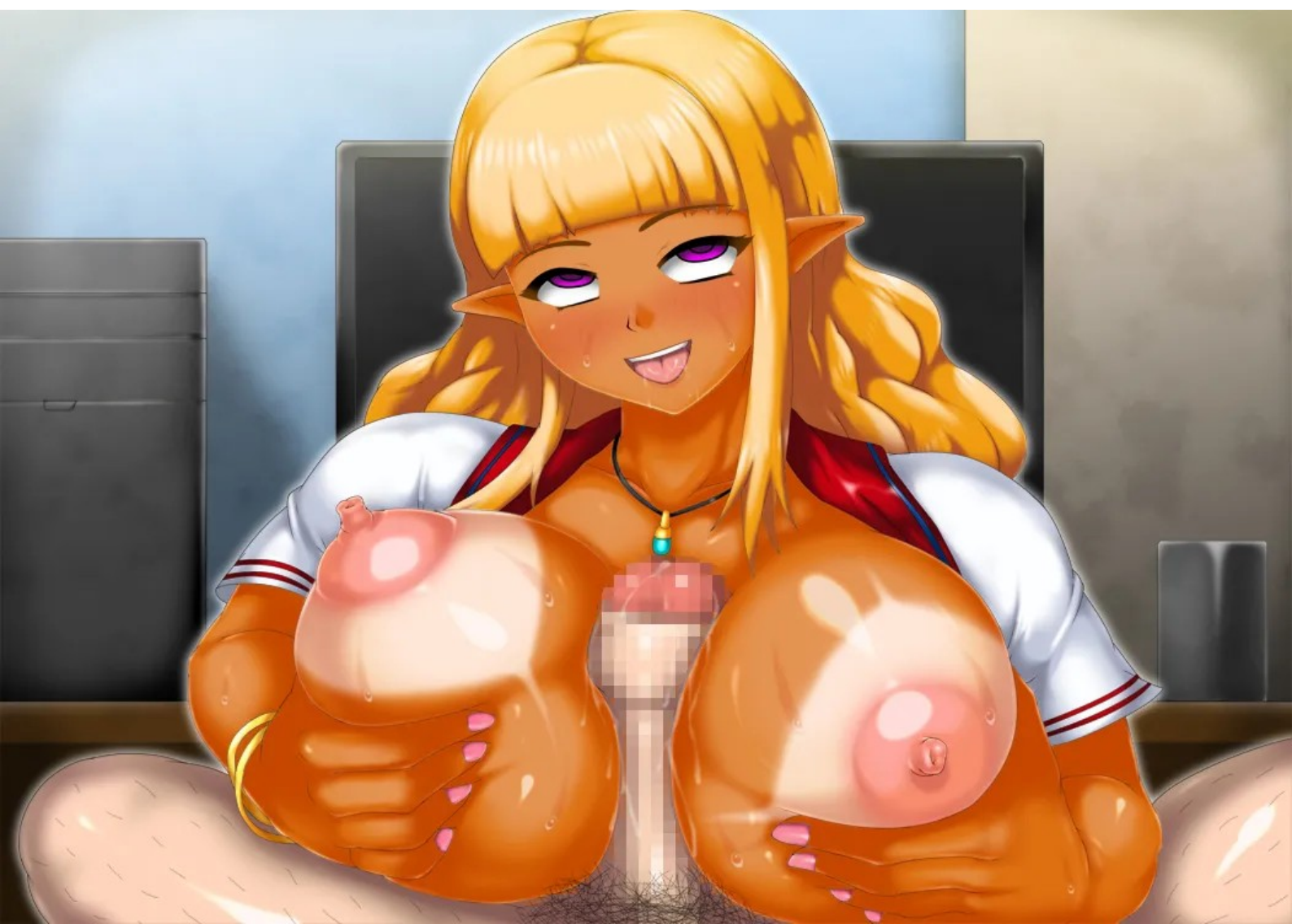


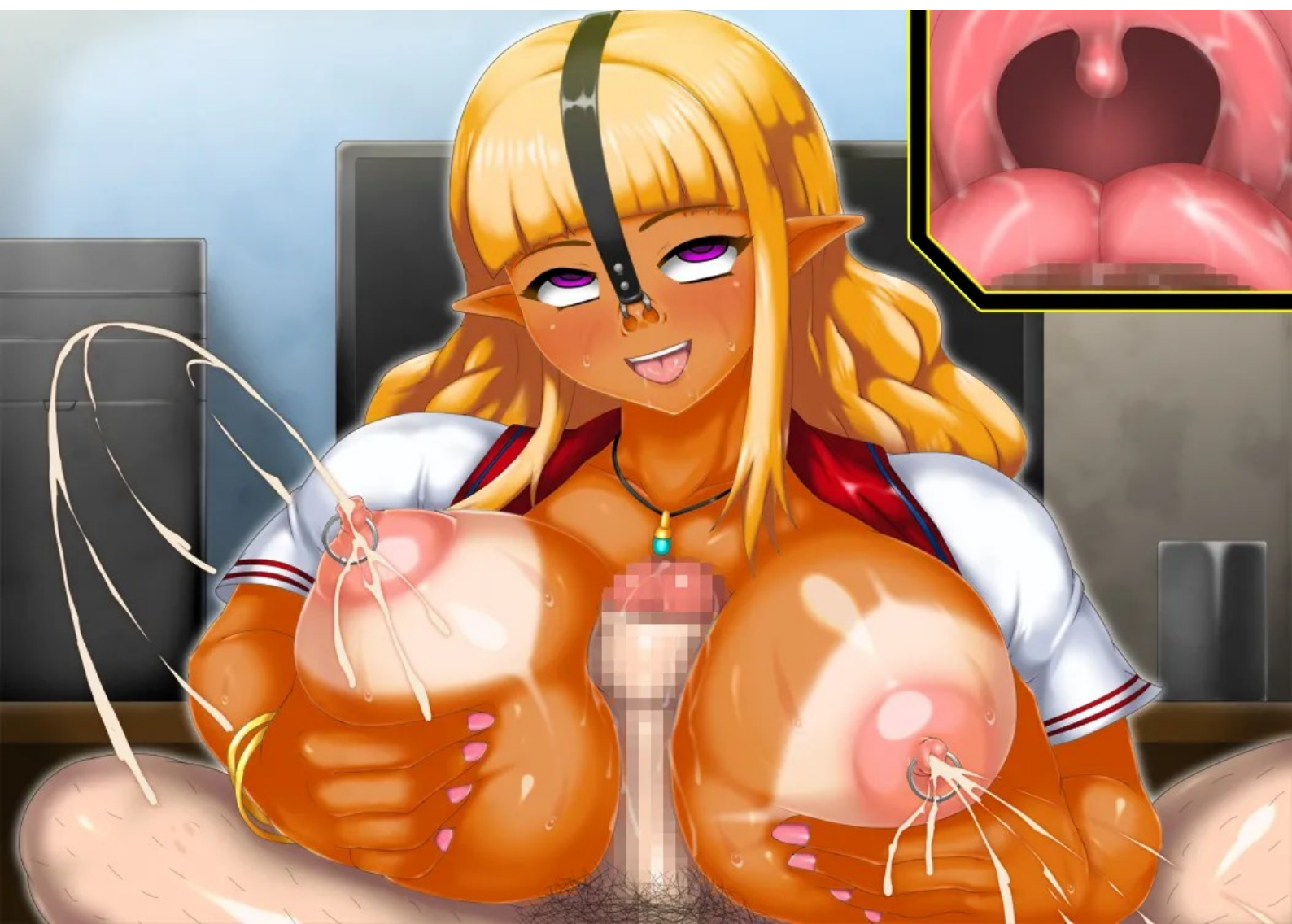


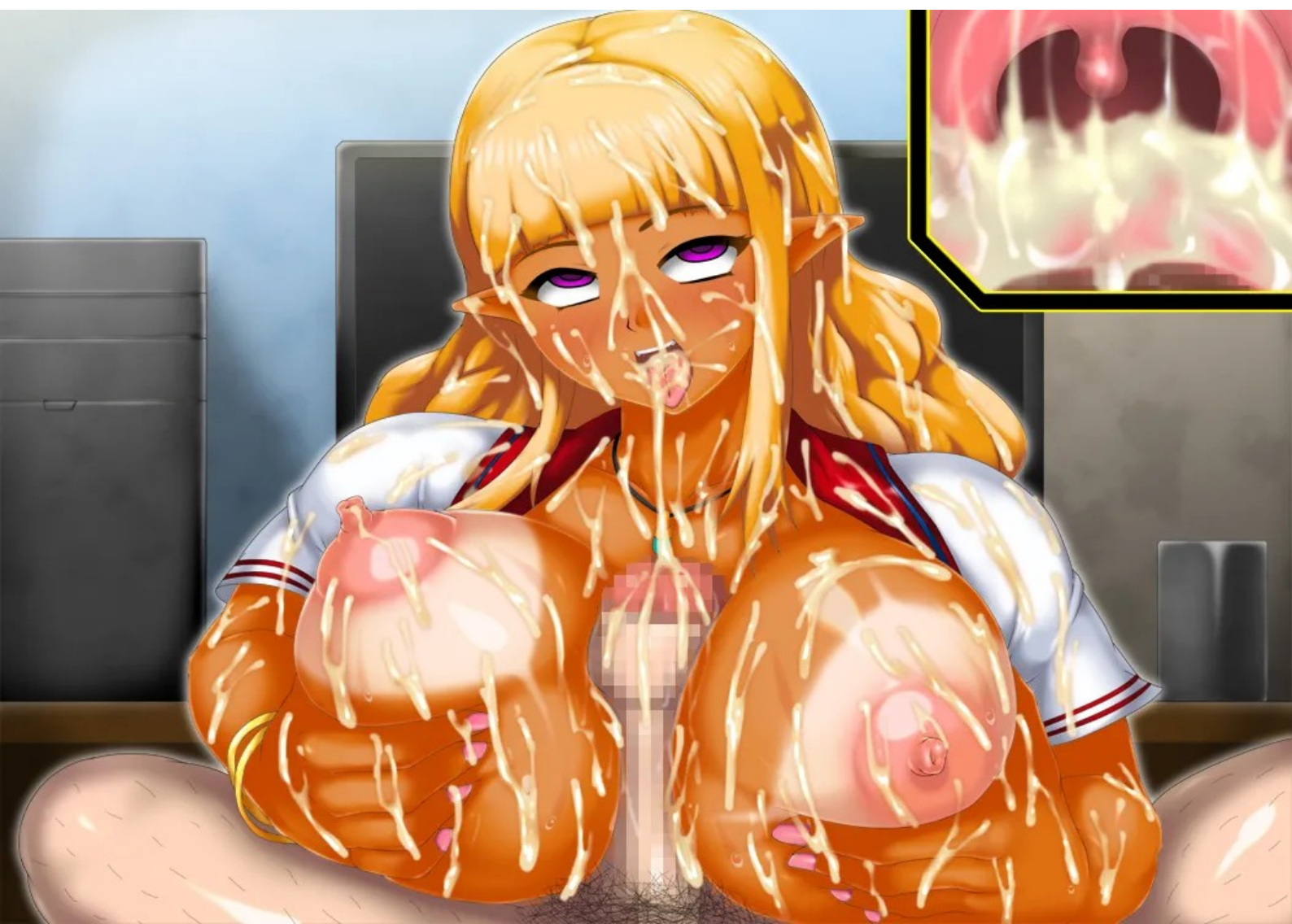


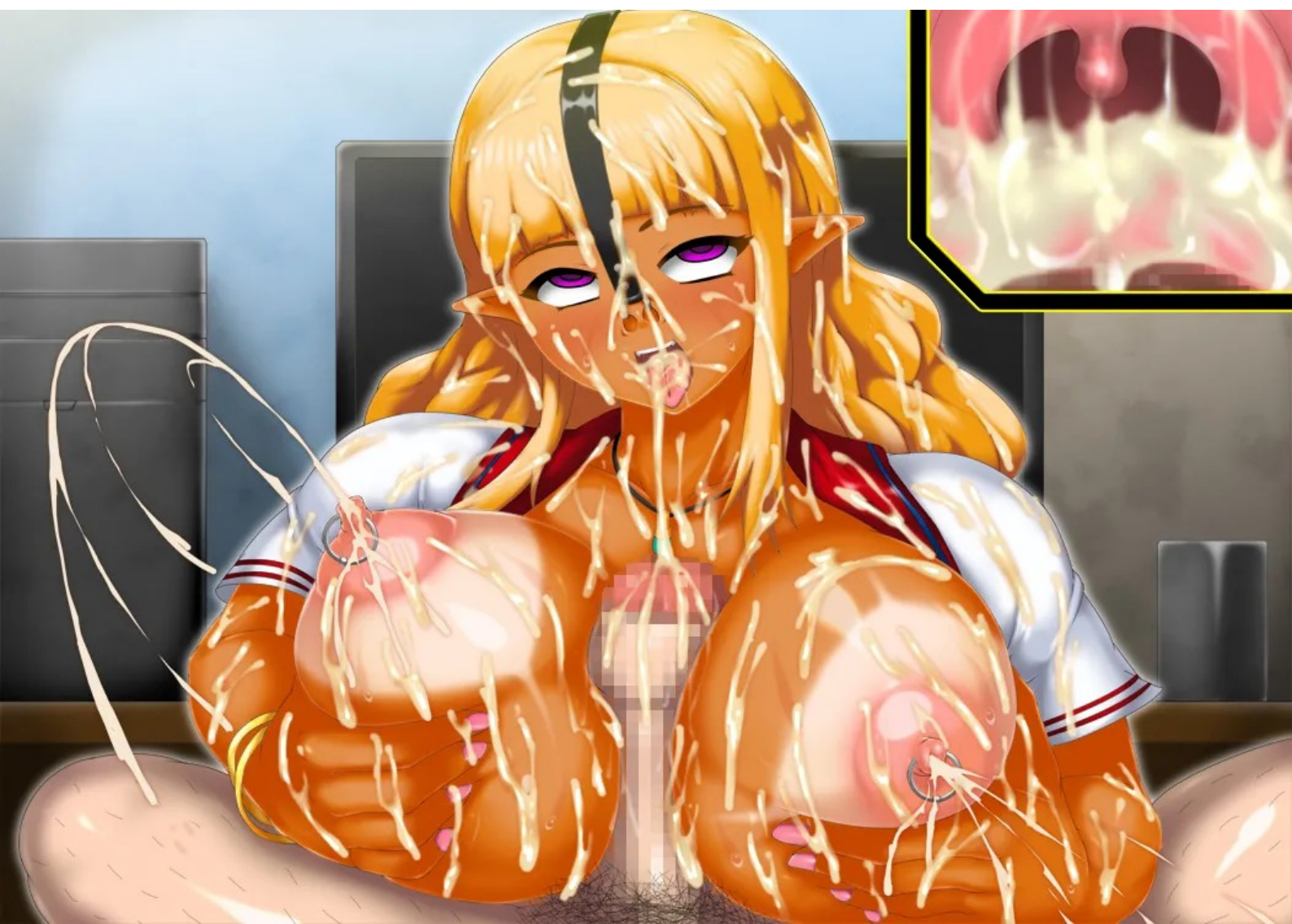














街の路地裏に連れ込まれ、おもむろに肌を露出し誘惑される。そのいやらしい身体を求めざるを得なかった。むちっとしたお尻を突き出し、性交を促される。勃起した男根をすでにぐっちょりと濡れた陰部に挿入する。欲望のままに激しく、後ろから突き続ける。豊満な乳房が性交によって卑猥に揺れだした。何度も中出しした後、彼女に大量の精液を塗りとくった。彼女は満足そうにその状態を楽しんでいるようだった……。



あぁっ！オチ○ポが
固くなってるぞお！

あはぁっ！バックで
突かれてるぅ！

はっ！

ざちゅ

うんぬ

うんぬ

うんぬ

うんぬ

ざちゅ

はっ！

はぁん！

はぁん！

はぁん！







あはあっ！

んぐりあうー！

いっしょ

ざちゅ

ふしあふあふあ

どん

どん

ざちゅ

いっしょ

はあん！

ぎゅ

どろろ

どろろ

ぎゅ

いっしょ

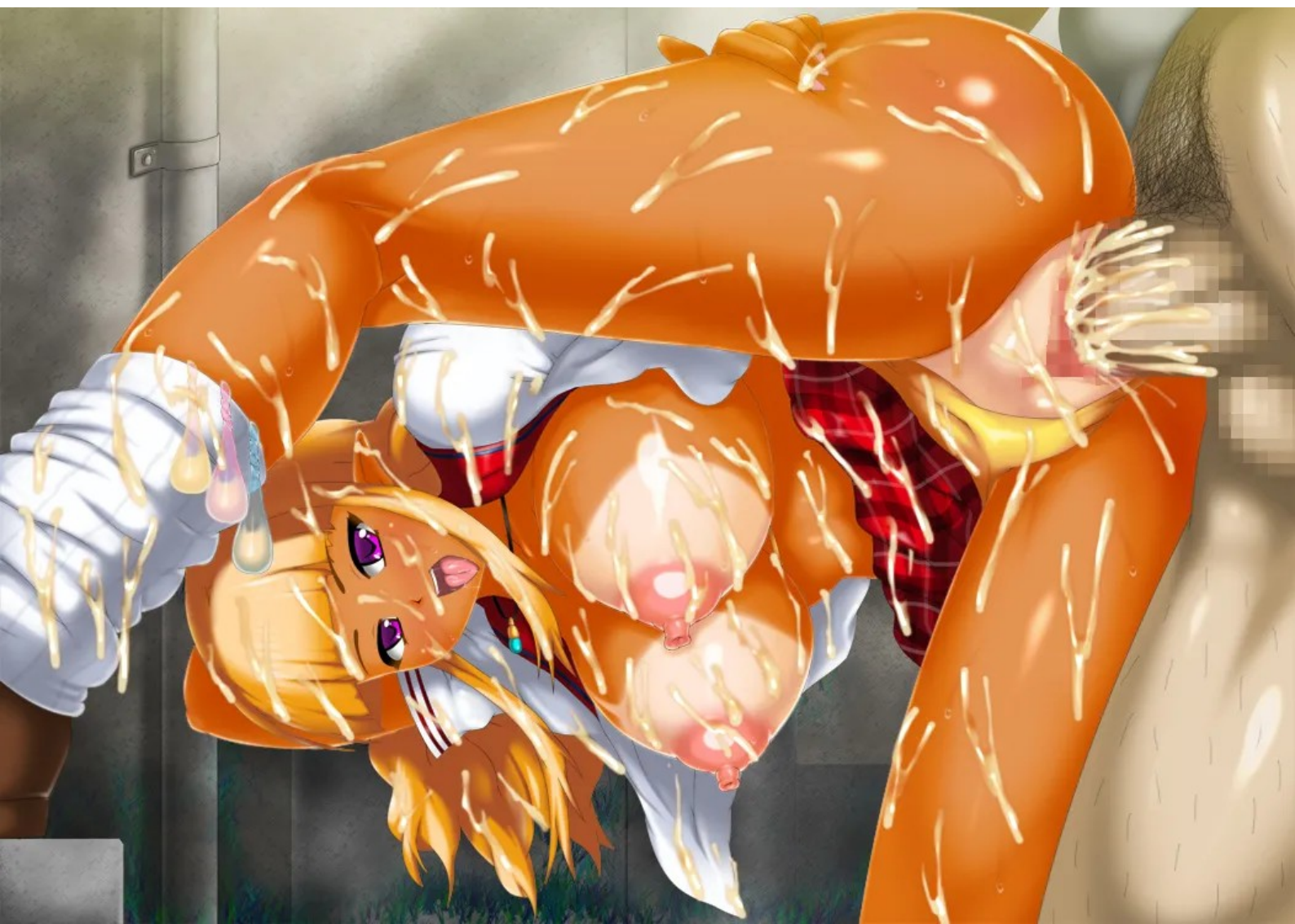
いっしょ

はあん！

ああ！



































人気のない昼の公園。変態行為に興味をもった巨乳ダークエルフは、陰部に玩具を挿入し、自慰を始めた。豊満な乳房を露にして興奮を促す。すでに勃起した男根を握り、いやらしく手で擦り続ける。陰部からは愛液が溢れ出し、ぐちょぐちょと音を立てて弄りまくる。彼女は目を見つめながら、男根の臭いを嗅いだ。我慢できなくなった男根から大量の精液が吐き出される。彼女の身体は一瞬にしてドロドロになった。その行為でさらに興奮し、イキ続けた。彼女はこの変態行為をかなり気に入ったようだった・・・。



見てみるお、私のオマ〇〇が
ぐちゃぐちゃよになつてゐるぞお！

あはあつ！外での行為は
興奮するものだなあ！

あぁ！

あぁ！

い

い

んあ！

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃぐちゃ...





あはあーっ！あはあーっ！

あはあ！

あはあ

あはあ

あはあ

んあ！

あはああああ...

あはあ

あはあ

あはあ

あはあ！

臭い精子ドロドロお









